ひょうたん鯰

スナップ

印象派・I

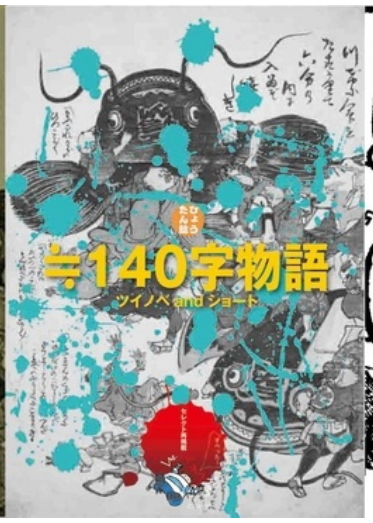
ひょうたん鯰

スナップ印象派

セレクト再掲載

©ヨコヤマト

はじめに・・



ヤフーブログからセレクト転載、スナップ印象派、ツイッターノベル、おもしろ印象派などジャンルいろいろ、オリジナル写真も多数掲載して、よみやすいe-hon（閲覧無料）です。ダウンロードもＯＫ！URLからアクセスしてぜひ。

Pubooブクログ　**e-hon**『ひょうたん鯰』（**13Title**から増殖中～♪♬）

http://p.booklog.jp/users/axros03

：

下記は閲覧ページの一部です、ダウンロードしてお暇なときにお読みください。

≒１４０字物語　ひょうたん鯰

http://p.booklog.jp/book/118396/read

ひょうたん鯰：１

http://p.booklog.jp/book/19047/read

ひょうたん鯰：２

http://p.booklog.jp/book/34561/read

おもしろ印象派

デジ撮！オリジナル「新・おもしろ画像」と「印象記」ア・ラ・カルト。珈琲タイムに、見て読んでニュートラルなひとときを、ぜひ！

http://p.booklog.jp/book/19408/read

スナップ印象派：１

http://p.booklog.jp/book/61780/read

遠足日和

駅構内にこの朝、ゆるやかに蛇行（だこう）する川ができた。

パステルカラーをまとった水たちが、流れに沿って構内に入ってくる。

やがて突きあたって淀んだそれは、思い思いに整列し始めた。

そうか、きょうは遠足か。いや、みんな画板を持っているから写生授業か。

で、ここからだと、どこへ。

子供の成長過程でいうと、幼稚園から小学生の時期は、

中高など他のスパンから比べると、とても長い。

日本史における時代区分だと、

縄文前に20万年間以上続いたとされる旧石器時代に例えることが出来る。

やがて自ら考え始め、新しい時代へ向かっていく。

親もこの間、子育てについて時に深く考えるのだが、さてこれが難しい。

これには正解があるのやら、ないのやら。

居つき白鳥

地蔵さんと居つき白鳥と讃岐富士

・

近所の池(香川県丸亀市・田村池と大井池)で、白鳥の親子(雄雌とひな3羽)を見かけた。ここ数年、冬も春も池に居るので見物の小父さんに聞くと、この白鳥のつがいは『居つき』といって、時季になっても『渡り鳥』をしない。

毎年子供だけが巣立って行くのだが、「飛び立つ時の助走がえらく長くてな、そらダイナミックなんや」とも。この日は、おばあちゃんが“鯉に麩”ならぬ、“白鳥に麩”を与えていたが食いつきは良くないようだった。好物は食パンなのだと、あとで聞いた。

ちなみにカルガモの親子よろしく、池の土手を縦列して渡るという。先日その前をカメが歩いていて、親鳥が「ぶふぅーーっ！」と鳴いて威嚇したそうだが、カメは我関せずと池に入っていったと。(かみさん目撃)

ここは横にくっついている大井池と併せて、野鳥観察で名を知られている。また田村池では、半世紀以上前から「フナ」の養殖が行われている。ちなみに池は水利組合(農家)の所有である。

蒲公英とお地蔵さん

蒲公英とお地蔵さん

ことしゃ、タンポポの当たり年だね、

地蔵さんや・・・♪♫

愛犬の散歩コースの真ん中辺りに、いつも鎮座しているお地蔵さん。

お花や前掛けなどいつもだれかれとなく世話しているようだ。

そのまわりに今年はタンポポが群れて咲いている。
・
讃岐丸亀にある溜め池「田村池」の守り地蔵

百歩一景

百歩一景

『一歩一景の美』は、讃岐『栗林（りつりん）公園』のキャッチフレーズだが、

ここの眺めもそこそこに“美”だ。・・・讃岐富士（飯野山）と溜め池。

全国的にも珍しい、お茶碗にまんまるとご飯を盛ったようなカタチの山、

地元では飯盛り山のあだ名を持っている。

讃岐富士を映しておだやかに揺れる水面に、季節にはのんびりと渡り鳥が憩う。

愛犬散歩の道すがら、何度もブログにアップした被写体。

天気のいい日も悪い日も必ず一度シャッターを押すことにしている。

ここから東の方向に流れる土器川（一級河川）近くに住む知人によると、

この山に昇る朝日がとても美しいのだとか。一度拝んでみたいものだ。
：
その昔、学生時分の夏休み帰省中。

宮崎県を筆頭に九州の同寮生３人が、旅行途中に突然訪ねて来たことがある。

一晩か二晩、泊まっていったと記憶しているが、

お礼のハガキの一枚に「香川県の山はまんまる。こちらとは大違いです」と、

旅行の印象を綴ってきた。

続けてそこには「丸くなだらかな山と険しくそびえる山、

日々眺めている景色によって県民性が変わったりするのでしょうか」

といった意味のことが書かれていた。

讃岐富士のことを“チビまる子”と愛称するのは、

その時のハガキの文脈を引きずっている。

：
讃岐には　これをば富士といひの山　朝げの煙のたたぬ日もなし

讃岐には　これをば富士といひの山　朝げの煙のたたぬ日もなし

：

これは四国巡礼の西行が詠んだ和歌。

飯野山（いいのやま）に朝食支度の煙がかかる様子が表現されている。

飯野山は、火山や地殻変動で出来た他の『ご当地富士』と異なり、

地形が浸食されて堅い部分だけが残った、いわゆる“風化山”。

茶碗のご飯を逆さにしたようなカタチから、飯盛（めしも）り山とも呼ばれる。

争いを好まない讃岐人気質を象徴するように、座し方が穏やかな山だが、

この山には『おじょも』という“巨人伝説”が残っている。

それは、巨人の『おじょも』が土を盛って飯野山を拵えたというもの。

その他、ある時この山と金刀比羅（こんぴら）さんを祀ってある

象頭山（ぞうずさん）に両脚をかけて小便をしたところ、

その流れが土器川になったとも語り継がれている。

・・・近隣地方や韓国の昔語りによく似ている。

またこの山、“お茶碗にご飯を山盛りしたような”全方位シンメトリーでなく、

やや南東の頂上辺りが、胚芽の取れたお米のように欠けている。

山頂の見え方によって住んでいる町が推量できるという訳だ。

チビまる子

讃岐（香川県）丸亀市にある飯野山（いいのやま）と田村池。

写真は東向きに撮っているが、この真逆の西側に田村町があり、

正面に見える飯野山のすそ野一帯に“桃の里として知られる”飯山町がある。

山や池の名称と地名、

いずれも同じ名前が付けられているが、どちらが先なのかは知らない。

温暖小雨な讃岐は溜池（雨や川の水を貯めてある）がけた外れに多い。

ゼンリン（地図帳）のどこを開いても、

ページの至るところに溜め池が穴を開けている。

これもその内の一つ、大小の池（田村池、大井池）がつながった親子池だ。

愛犬チーコ号の散歩で、

カランコロンと下駄を鳴らして一周約３０分の道のりだから、

近隣と比して結構大きい池。

秋から冬にかけて渡り鳥で賑わう、また居着き鳥も。

この方角から眺める飯野山、通称『讃岐富士』が、

丸みを帯びたシンメトリーな円錐形で、一番おだやかに見える。

飯野山、あだ名を『飯盛（めしも）り山』といって、

成る程！のフォルム、名は体を表すとはこのこと。

讃岐の山は大方が丸く小さい。急峻（きゅうしゅん）で険しい山は見られない。

こんな山々を眺めて育った讃岐人の性格は、私も含めて、さてどうなのか。
：
手前に広がっているのは菱（ひし）の実、昔はこれを塩茹でにして食べていた。

最近、この実を『きんとん』や『おこわ』に加工して、

特産品として売り出そうという地域があらわれた。三重県伊賀市だ。

伊賀は忍者の里、その武器の一つである撒きビシからの発想であるというが、

商品化がその後どうなったのか、ついぞ聞いていない。

禁猟区

禁猟区

昔は溜め池の周辺にほとんど家がなく、時季になると鴨撃ち猟が行われていた。

早朝からハンターたちがやって来て、散弾銃をぶっ放して喧しかったと云う。

堤の長さが１.２㎞もあるから跳弾（ちょうだん）事故もなかったようだ。

この溜め池が禁猟区になると、

こんどは空砲を撃って鴨を追い出すということをやっていた。

ちょっと東に猟場の溜め池があって、そちらへ追いやろうとしたのだが、

「ほんま鴨は利口でな、すぐこっち池へ舞い戻ってくるんや」とお袋。

いつの話なのか、かなり昔の昭和の話だろうなあ。

いまは護岸工事なども万端整えて、鴨や渡り鳥、

住みやすいので渡りをせずに居ついてしまった白鳥親子など、

ちょっとした野鳥ウォッチングの名所になっているようだ。

愛犬チーコ号が亡くなってからは、しばらく散歩に行っていないが、

土手に咲くたんぽぽや野草など、以前のままの佇まいだろうなあ。

新そばの季節

新そばの季節

近所に蕎麦畑ができて花が咲きはじめたが、

何とも妙な肥やしのようなニオイが漂ってきて・・というTweetを見かけた。

そのTweetによると、

そのニオイの元は蕎麦の花からだったということが分かったそうだ。

さらに調べると、蕎麦の花は受粉しにくいため

強いニオイを発散させて蜂などを惹き付ける工夫をしているとか。

蕎麦畑を一度も見たことがなく、そんな話も聞いたこともないので半信半疑。

近所のうどん屋さんで「生そばあります」の紙が貼られていた。

蕎麦やさんでも「新そば入荷！」のお知らせがされているだろう季節に、

こんな話もどうかと思うが。

本日その近所の「製麺＆Selfうどん中浦」で生そばを食べてきた。

夏新

夏新

新そばの時季っていつなんだろうか？と調べてみた。

Wikipediaによると、

秋から初冬にかけて作られた旬の蕎麦を〖秋新〗（あきしん）、

初夏から夏のそれを〖夏新〗（なつしん）と云うことが判明した。

とするとお昼に食べたこれは〖夏新〗だ。

近所のセルフうどん店［なかうら］のおねえさん（女主人）、

躰は華奢（きゃしゃ）ながら年に何度か蕎麦を打つ。

「性懲りもなくまた蕎麦打ったんや」と、お客さんに喋っていたから

きっと蕎麦（を食べるの）が好き、もしくは蕎麦打ちが趣味なんだぞ。

“ねっとりとしたコシ”のある田舎蕎麦、

海老かき揚げを載っけると旨いのだが、ちょっとカロリーがなあ。

Deep Throat Udon

作家・村上龍は讃岐のSelf（製麺所）うどんを「ディープ」と比喩。
といえば「Deep Throat」は1972年にヒットした米国ポルノ映画、
観ていないけどハードコアの走りだそうだ。
・
久しぶりのうどん行、本題に入る前に余談が先走る。

過ぎたるは及ばざるがごとしと言われる。うどんだってそうかもね。
ことにこちら讃岐・香川の人はうどんをよく食べるのなんの、
昼は勿論のこと一日三度という人も多々。
しかし、食べるというよりも呑み込む人の如何に多いことか。
ちゃんと噛まないと体に良くないですよと言うと、阿呆にされるのがおち。
懸命に食べているその様子は口と食道が、
もっちりとコシのある麺を相手にAralなDeepSexを愉しんでいる。
ワタシにはそんな風に見えて仕方ないのだが。

で、過ぎるとどうなるか。でん粉質と塩分に偏った食事が
まずうどん過食者を味オンチ（もともとおかしい人もいる）に陥れ、
やがて糖尿病と高血圧症を手招きする。
その後、毛細血管に影響をおよぼし始めると、
最悪、血管臓器と呼ばれる腎臓をぶち壊したあげく、
腎透析の厄介にならざるを得ないという、卑近な例も。
さてここまでが余談である。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

落石注意！

曇天の海岸道路を走る。左は切り立つ崖、右は鈍色(にびいろ)の空に溶ける海。

「落石注意」の道路サインを行き過ぎるが「何をどう注意すりゃいいのさ」と、

これを斜(はす)に見遣ってアクセル。と、その時だ。

フロントガラスに激しくほとばしる飛沫、

続いて前方崖から、弾みをつけて降り落ちてくる多数の物体。

何じゃこりゃ、崖崩れか！

いやまさしくそれは、よく煮込まれた里芋、人参、鶏肉、油揚げ、大根！

すると先ほどの飛沫はダシ、するとこれはしっぽくうどんの具か！

しっぽくの、ごろりと大ぶりな里芋を眺めていると、

ふと「落石注意」の道路サインが思い浮かんだ。

Ｐhotoは、うどん馬鹿一代「かしむら」のしっぽくうどん
http://tabelog.com/kagawa/A3701/A370101/37001242/

シラノ・ド・うどん棒

シラノ・ド・うどん棒

うどん棒は堅い栃の木で出来ていて、栃麺棒（とちめんぼう）とも呼ばれる。

で、ここ讃岐（香川）高松市、うどん店『うどん棒』は、“料理なうどん”を

食べさせてくれる名店、「どんぶり」メニューもあって味は期待できる。
：
うどんのエピソードというと。

私がフリーに成り立ての頃だったから、かなり昔。

東京から地元へ帰ってきた高名な写真家に、

観光パンフレットに掲載する釜揚げうどんの撮影を依頼しにいった時のこと。

唐突に、「うどんなんてえのは車夫馬丁（しゃふばてい）の

輩（やから）が食べるものだよ」と、流ちょうな東京弁でまくし立てられた。

この言葉を思い出す度に、邦画『無法松の一生』のタイトルが想起される。

主人公（車夫）が劇中でうどんをかき込んでいたかどうか、

映画を観ていないから知るよしもないが、

氏の語るうどんは「立ち食いうどん」のことだったのであろう。

しかしあの写真家、生きていたら１００歳を悠に越えている筈だが。

すでに鬼籍（きせき）の人か。
：
邦画『無法松の一生』の原作である

小説『富島松五郎伝』（原作：故岩下俊作）の主人公は、

あの『シラノ・ド・ベルジュラック』をモデルにしている。

岩下氏が１９歳の頃に観た洋画『シラノ』に強く感動した旨（むね）が、

当時の日記にも書かれているという。
：
邦画『無法松の一生』の原作者インタビューで、

「シラノ・ド・ベルジュラックの日本語版をつくりたかった」という、

生前のコメントが掲載されている。

シラノと無法松、いずれも無償の愛を貫くという役柄で一致している。

愉快犯

愉快犯

競輪場へ出かけて昼飯ドキ、

食事は施設向かいに最近できた人気のＳｅｌｆうどん店へ。

レジ前に『小・大・特大』と、

あらかじめうどん玉が丼に入れて並べられている中から

『うどん特大（３玉）』をチョイス、タモ（玉網）に入れて湯煎（湯がく）。

その上に『かき揚げ天』や薬味をトッピングして席に座って、さて。

・・・食べる気満々！

キャップを取った唐辛子（七味）の瓶を、スナップを利かせて振った途端、

うどんの上に瓶のあ真っ赤な中身が、どっば～！と一気にぶち撒かれた！

よく見ると、小穴で薬味の出を調整してある中ブタが、

何者かによって外されていたではないか、

なんだとおっ、くそ愉快犯め！！（と回りを見渡すが）

誰だこんな酷い悪さしやがった奴は！？

おかげで山盛りの唐辛子をかきわけながら食べる羽目になった。

・・・か、辛いわ！と喘ぎながらもほぼ完食したよ。

：
このＳｅｌｆうどん店は、

福岡町・競輪場近くのスーパーマーケット隣にあって、

マーケット撤退と同時に姿を消したが、屋号がなんだったのか思い出せない。

けっこう美味しかったので、きっとどこかで繁盛していると・・・。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

君が代と**Wikipedia**

君が代とWikipedia

先夜、映画『人間の壁』（独立プロ）を覧たものだから、日教組のことが・・。
・
1950年、日教組（日本教職員組合）と壽屋（現サントリー）が

新国歌の楽曲を募集していたことを、Wikipediaで見かけた。

結局どちらも採用されなかったと云うが、

前者はともかくなんで壽屋（サントリー）なんだろうな。

これって、最近報道された「君が代斉唱」などの問題と

関わりがあるのだろうか。

そのいずれもよく分からないまま・・ふむその内。
・
「君が代」に代わる国歌制定運動（Wikipediaから転載）

第二次世界大戦後の1950年代初頭、

「君が代」に代わる新たな「国民歌」を作ろうと、

日本教職員組合と壽屋（現：サントリー）がそれぞれ募集し、

別々に「新国民歌」を選定し公表した。

日本教職員組合が「緑の山河」、

壽屋が「われら愛す」という楽曲をそれぞれ選出したが、

その後、これらのいずれも定着には至らなかった。　原文ママ

・
で前文のWikipedia繋がりの余談だが、

「Wikipediaは広告を掲載しません、ですから寄付をお願いします」

といった、複数担当者の署名記事が年始めだったか頻繁に出稿されていた。

Wikipediaはフリー辞書、匿名で書き込み自由だからか至極たまに、

辞書とは謳えない記載を見かけるので、信ぴょう性が疑わしいが、

もし万が一愚かな記述により賠償が発生したら（恐）

・・だからバナー広告で儲けることができない、これホント!?

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

鳩の話

のろまな鳩

競輪場近くの公園をチャリで横切っていた時、

進行ラインに鳩が十数羽群がっていた。

面白いやと、ゆっくり突っ込んでいったのだが、

なかの一羽だけ逃げ方がのろま・・

でちょっとハンドルをそいつの方へ切ると、

あらら！尾っぽの先っちょをタイヤで踏んじゃったよ。

大方の鳩は危険を見切ってするりと体をかわすのだが、

この鳩は呑気なのか神経が鈍いのか、どっちなんだい。

轢かれてからすばしっこく逃げ出すんだったら、最初からそうしろよな。

・

鳩だって暑い！

いつもチャリでショートカットしている公園なのだが、

炎暑のある真昼、広場にいつもの鳩たちが一羽もいず、人の影もない。

見慣れた光景とは一変していて不気味。

どこに行ったのか、藤のパーゴラに目をやると、

濃い影の中にうろうろと鳩たちが群れている。

奴らも暑いのかと感心した数年前の真夏日のこと。

Blogにぴったりの被写体だなとデジカメを構えたが、気配を悟られてしまった、

いや今でも惜しい。

・

うう、うらめしい！

自転車に荷物を積み込んだ浮浪者風のおばちゃんが、

近くの公園で袋菓子をばらまいている、群がる無数の鳩、というシーンを

よく見かけていたが、これが餌付けになったのかしばらくして、

わが家のベランダに鳩夫婦がやって来始めて卵まで産み落とした。

階下に投げ落としたのだが、その時足もとにいた鳩に、

なんとも“恨めしそうな目つき”で睨まれた、ような気がした。

いまでも、コンクリの上で微かな音を立てて割れた卵が記憶にしがみつく。

・

ベランダに蛇

ベランダに毎朝出勤してくる鳩夫婦のハト害に悩まされていた頃。

ネットで追い払う方法を検索していると、あの2チャンに遭遇した。

複数の過去スレッドが掲載されていて曰く、

鳩はトゲを嫌うのでバラの栽培をするといいとか。

そのなかでもトンでも回答は、蛇を飼えば効果バツグンというもの。

いやいくらなんでも、それはな！

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

臨死ってこんなん!?

臨死ってこんなん!?

夜中、朦朧（もうろう）意識で目覚めて

トイレへ行こうと立ちあがろうとしたが、

えっなんだ!?カラダが動かない。

ちょうど、両肘をついた匍匐（ほふく）姿勢のまま。

床から天上を見上げるが室内灯は消されていて暗い、

妻(さい)はまだ階下でテレビの最中だ。

声を出そうにもなぜか喉がかすれている。

この状態を何と呼ぶべきか、脳疾患かそれとも心臓障害、

これが臨死体験かなどと妙に醒めた意識、

音叉が共鳴するような静寂のなか徐々に視界が薄れて・・

ん、あれ!?カラダに感覚が戻ってきたぞ、

徐々に動くことができ始めた。よっこらせと立ちあがって灯りを点けた。

なんだい、脚が攣（つ）っていただけなのか。

そして何ごともなかったように用を足して、布団へ。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

ヨイショ！でみんなハッピーにといったコンセプトの一作。

気に入りの四コマだから何度もデジ撮していたよ。

改めて眺めると、かなり深いというか穢（けが）れがないというか、

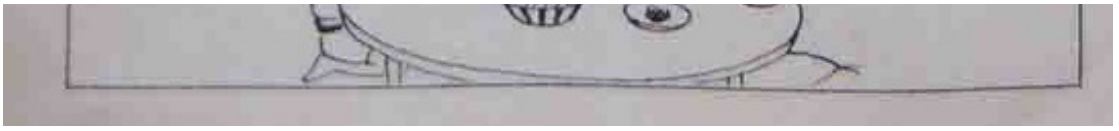
サザエさんの心裡描写。。。

なんにしろ一日の終わりには、みんな笑顔で

日々大団円_Grand Finale♪♫のフレーズが思い浮かぶなあ。
・
漫画『サザエさん』（長谷川町子）

酒好きのカツオ_1

うまい！
カツオ おまえも すこーし どうだ
ボク いやだ よ
まあ いいから すこし しなさい
しょうばん
ハハハ どうだ にがかったろう
あんがい おいしいや！ もう一パイ いこう
いけません!!



酒好きのカツオ_1

図らずもカツオに酒の味を教えてしまったのは、波平パパ。

波平パパが一人晩酌している時、

からかい半分でカツオにコップ一杯のビールを飲ませたところ、

「案外おいしいや、もう一杯ちょうだい」と、意外な反応。

波平パパ、大慌てでビール瓶を引っ込めた。

その時なのだ、カツオが酒の味を知ってしまったのは・・・。

Ｐhotoは『サザエさん』から無断転載。不可の場合はご一報を。

酒好きのカツオ_2

酒好きのカツオ_2

漫画『サザエさん』。

カツオの性格設定が複雑だなあと思いつつ、

単行本をランダムに読んでいるが、さらに発見が。

ある日の4コマで、波平パパが一人で晩酌していて寂しいものだから、

「カツオお相伴するか？」とコップ一杯のビールを飲ませたところ、

「意外とおいしいや、もう一杯ちょうだい」。

これには波平パパ、「ダメッ！」とビール瓶を慌てて引っ込めた。

そんなエピソードがあってから、

どこで味をしめたのかワイン好きになっていた。

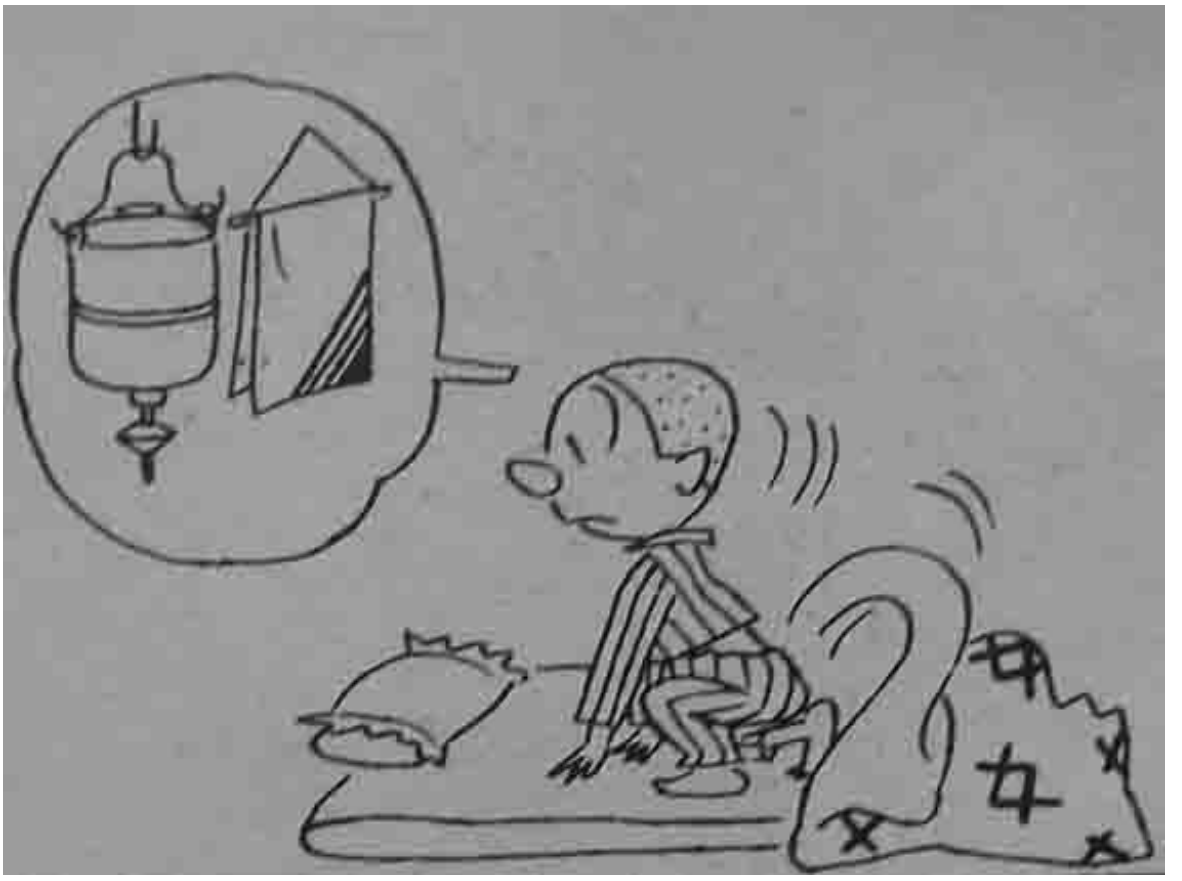
こりゃ将来が・・とは言うものの、

作者は鬼籍の人だけにカツオのことはカモメに聞くしかないか・・？
・
余談だが、3コマ目、ワカメちゃんの首筋の描写がいい。

サザエさんの後ろ首にも以前このスジが描かれていたのだが。

Ｐhotoは『サザエさん』から無断転載。不可の場合はご一報を。

なんだっけな、これ!?



なんだっけな、これ!?

昔々のトイレ・・・。

トイレは、厠、雪隠、ご不浄など沢山の名前を持っているが、

私の場合は“便所”だった。

その当時、便所の小窓に吊られていた手洗い器、どんな字を書くんだろう、

という疑問も抱かず、

大人たちの言葉を真似をして“ちょうずばち”と呼んでいた。

いまの今、ワードを打ち込むと“手水鉢”と漢字変換されたので、

長い間、名前を覚え間違え続けていたことに気付いた次第。

そうだ、あれは明らかに鉢ではない、

じゃあ何だったんだ、どういった名前を持った器具なんだ。

で、思いつくままのキーワードでYahoo！検索していると、ようやくヒット。

ちょっと長いが『吊り下げ簡易手洗い器』（カラン付き）とあった。

写真は、記憶よりも少し大振りだったがこれに間違いない。

・・・まだあったんだな。

カランは蛇口、和蘭語の鶴（Ｋｒａａｎ）が語源だとさ。

Ｐｈｏｔｏはサザエさんの一コマ、カツオが夜中トイレに起きるシーン。

この吹き出し、現在だとどんな絵柄になるんだろうか・・・ふむ。

Ｐｈｏｔｏは『漫画：サザエさん』から無断転載。不可の場合はご一報を。

美味求心

美味求心

美味求真(びみきゅうしん)・・このフレーズちょっとディープ。

ネット辞書にも四字熟語辞典に載っていない。

字面がグルメ関連をイメージさせるので、

以前は広告コピーや飲食処名のサブタイトルに多投されたことも。

ということは時代が紡いだ造語なのだろうかと調べている内に、

美食家として知られた木下謙次郎が1925年（大正14年）に発表した

「美味求真(びみぐしん)」という随筆があることを知った。

語源はここだったのか、

後世の人が馴染みやすいように読み方を変えたのか、さてどうでしょ。

美食家で文筆家といえば開高健も・・。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

誰も寝てはならない。

誰も寝てはならない。

眠りに落ちる寸前、そこから引き戻そうとするチカラを感じる。

そのチカラとは、

三途の川を挟んだ両岸に睡眠（彼岸）と覚醒（此岸）があり、

「そっち（彼岸）へ渡ってはならない！」と警告する念である。

眠りは“無明”、すなわち死を意味する。

また欠伸（あくび）は、夜も禽獣たちに襲われていた原始時代、

寝てはならない！と本能が発した危険シグナルだ。

何億年にも亘って受け継がれたDNAがいまなお健在という訳だ。

・・これ本当か!?

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

ベルエポック

ベルエポック

口ひげの似合う男たちと、

サテンのショールをまとった女たちが恋を語り合った・・

ベル・エポック（Belle Époque：仏）は、

ヨーロッパで産業革命が進む19世紀末から

第1次世界大戦（1914年）までの、戦争のなかった古き良き時代のこと。

1900年の第5回パリ万国博覧会はその時代の一つの頂点だった。

・・日本だと、東京オリンピックや大阪万博が開催された、

高度成長期の昭和30年～40年代に似ているか。

漫画「三丁目の夕日」の人気が変わらない理由はこのあたりだろうな。

まだ日本人の心に、敗戦に次ぐトラウマが刻まれる前。

懐かしいなあ、とただ懐かしむ、どちらもそんな時代のことだ。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

ぜんりんが！

ぜんりんが！

昔々、20歳代の終わり頃、薫風が心地良い5月初旬。

親父のお下がりダットサンブルーバードに、ルームの同僚を3人乗せての

昼飯（うどん）帰り、市内をぶらぶらと走らせていた。

前方に気を配りつつ、

運転席の窓から肘を出して片手運転をしていたそのとき、

ふと前輪を見遣ると、なんと！ぐらぐらとスィングしている。

1分もしないうちにタイヤの揺れ幅が大きくなって、今にも外れそう。

おお、おいっなにごとや！そういや数日前のパンク修理で、

以前タイヤを外す時にボルトが執拗に固くてこまったやないかと、

かなりゆるめに締めたことを思い出した。

降りるてみると、タイヤは20度以上も傾いている、

車体の重みでかろうじて“首の皮一枚”つながっている状態。

これが国道を高速で走らせていたら、窓を閉めていて気付かなかったらと、

今さらながらに怖さがこみ上げた。

その時の同乗者たちは、面白い体験をしたものだと上機嫌で大はしゃぎ。

おまえら何考えとんじゃアホか、いやわしが・・。

Ｐhotoは当時乗っていた同型の『ダットサン』、
ネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

ゴーヤのパーゴラ

ゴーヤのパーゴラ

鼻炎か風邪か、眠れんやないか！・・・涼しいうちにと早朝散歩は駅界隈へ。

サンポート辺りは見渡す限りの芝生広場、その先に瀬戸内海、

長い突堤を進むと赤灯台に行き当たる。ここからの眺めはすこぶるいい。

広場では、ベンチに寝っ転がったり、腰かけて新聞を読んでいるおじいさん、

ジョギングのお兄さん、散歩の夫婦などが思い思いの朝を過ごしているが、

浮浪者の風体をした人はいない・・・。

テレビや観光写真などでよく見る北京とかの都市だったら、

大勢集まって太極拳やってるだろうなあ、と思えるほどのいい環境。

広場の一角に設えられてあるパーゴラ（藤棚）の両サイドには、

いま流行りのゴーヤのカーテンが、青々と繁っている。

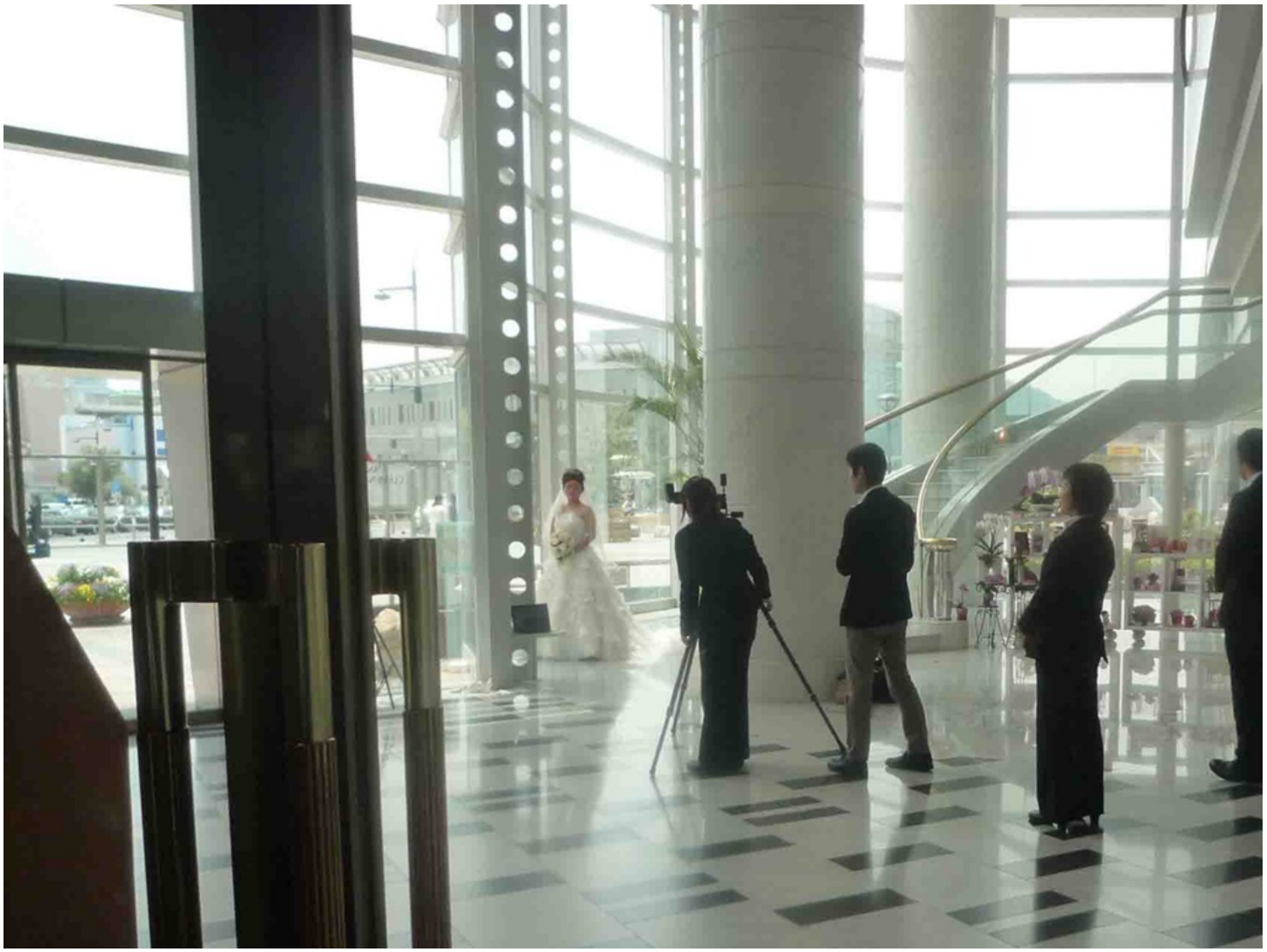
気になる収獲はどうなんだろうと覗いてみると、

大小10コほどのゴーヤの実が所々にぶうらぶら・・・で、やはりありました。

とらないでね！の赤い短冊。

ちかぢかゴーヤチャンプルを食べたいぞ！、などと思いつつ帰路に。

六月の花嫁



六月の花嫁

白い紫陽花、英語ではアナベルと言うらしいのだが、

わたしは見かけたことがない、もしくは記憶にない。

しかしそこかしこで結構咲いているようだ。

土の性質で花の色が決まるという紫陽花、

じゃあ深紅のそれは鮮血が咲かせているのか、

などと怪奇な物語に思考がシフトしそうになる。
・
妻(さい)と遅めのモーニングコーヒーを愉しんで、

さて帰ろうと手をかけた重々しいホールドアの向こうに、

眩い陽光をバックに六月の花嫁が微笑んでいた。

ホテルウェディングで、ひときわ輝きを放つ純白のヒロインって、

さながら白い紫陽花みたいじゃないか・・・とふと。

ロケ地に放射能_original by mis*to*36*

ロケ地の放射能

J・ウェインなど西部劇の錚々たる出演者（監督も！）が、

白血病や癌で死んでいたという話を初めて聞いた。

出所は、広瀬隆「ジョン・ウェインはなぜ死んだか」という

本を読んだ女性のブログだが。

当時のロケ地がネバダなどの荒野…

とくれば時代的にも原爆実験が原因だと、わかる。

哀れだな！

・

美沙都のこれでいいのか映画評論日記
「ジョン・ウェインはなぜ死んだか」
http://blogs.yahoo.co.jp/misato9364/37933112.html

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

縁のない話_original by mis*to*36*

縁のない話_original by mis*to*36*

ある朝、新聞のチラシを片付けていてふと気がついた。

急ぎ、子供たちを呼んでそのチラシをなにも言わずに見せた。

「ブハッ」と吹き出す者、「へえぇぇぇぇ」と感心する者、にたにたと笑う者、

３人の反応はそれぞれだが、彼らとわたしの頭にはある漫画の一場面があった。

小学館・ビッグコミックス『美味しんぼ』（原作：雁屋哲、作画：花咲アキラ）

単行本・第6巻・187ページ・・・ 主人公（山岡士郎）が、

宿敵である父親（海原雄山）と牛肉のことで言い争いになり、雄山が士郎に、

ある牧場の囲いの中から一番おいしい仔牛を選んでみろという場面。

士郎は、骨格がよく、毛の艶も目の輝きも鼻のぬれ具合も申し分ない、

一番健康で元気のよい一頭を選ぶ。

すると雄山は「なるほど・・・まだ気がつかないのか」

「やはり完璧に見逃しているのだな」と不敵な笑いを浮かべる。

「その仔牛を育てると、旨い肉牛になるというのか」

士郎　「よい環境とよい飼料で、36ヶ月以上丁寧に育てればな」

雄山　「ふっ・・・何もわかってないなっ」

士郎　「この仔牛のどこが悪いというんだ、
　　じゃ自分もあの中から選んで見ろっ！」

雄山　「わたしはあの中からは選ばない、絶対に」

士郎　「えっ？」

雄山　「あの囲いの中の仔牛は、全部オスだ」

士郎　「あっ！！」

・

牛肉でおいしいのは、３年以上よい飼育で育てられた、

子供を産んだことのない雌牛の肉なのだそうだ。

去勢され、充分に生育していない牡の牛は味が落ち、

牛の牡雌の違いは、肉の味に決定的にひびくものなのだそうだ。

牛肉なんて一ヶ月に一度たべるかたべないかの我が家には、

まったく縁のない話である。

・

下記ブログから承諾を得て転載しています。

美沙都のこれでいいのか映画評論記

http://blogs.yahoo.co.jp/misato9364

縁のない話

http://blogs.yahoo.co.jp/misato9364/38903685.html

朝のMisdo

・・朝のミスタードーナツ、

「うちお金ないんじゃから、連れて帰れんちゅうて言うとるじゃろが！」

「兄貴に言うたらどうじゃ、うちは無理じゃ！」

ガラス壁でセパレートされた喫煙コーナー奥の窮屈な席。

声を発しているのはタバコを咥えた茶髪のお姉さん、

その向かいにうなだれた老夫婦。

くたびれた身なりと相まって、ことさら小柄に見える。

・・・2人掛けの席が空いていたので、

トレー片手に座ろうとした時、この甲高い声が飛び込んできた。

話の内容と状況に圧倒されて回れ右してカウンター席へ。

・・・親子なんだろうか!?そうなんだろうな、きっと。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

夢の話

季節外れで泳ぐ人はいないが、老若男女で賑わう海水浴場。

派手な看板を掲げた屋台が所狭しと立ち並び、通路を形づくっている。

屋台群を抜けて防波堤の上を歩く。

途中突堤が迫りあがり、行き止まりになる。

かなり幅狭の堤に、怖々と腰を屈めて回れ右、

そして今度はおぼつかない足つきで歩き始める。

下は荒れ気味の波が砕ける緩衝岩。

無事に岸の砂浜まで戻れるのか不安がよぎる。やがて、

船からかけられた渡し板を急ぎ伝ってフェリーに飛び乗ったものの、

見知らぬ島へ接岸する。

下船口では屋台のおばさんが煎餅焼の様なものを差し出すが、

一瞥しただけで買わない。

次の便はすでになく、泊まる宿もなく、いったいここは何処だ。

家々には見知らぬ人たち、疎外感に打ちひしがれる。

日が暮れ始めたようだ。

港内に出入りする大小3艘の白いフェリーを眺めていると、

突然2艘が眼前で衝突、

一気に横っ腹を見せて沈没してしまう。あっと言うまもなく、だ。

港と沈没するフェリー、そして私とのパースペクティブが感じられない。

まるで立体絵本の中の出来事のようである。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

フカヒレのように飲む！?

フカヒレのように飲む！?

先日、親戚の法事。別室で二次会が始まった。

「うちのお父さん、飲みだしたらフカヒレみたいなんよ」

「フカヒレ！?ヒレはちょっと」「え、違うの？」

「フカだけやないですか?」「そうなの？」

フカのように飲む、ということだと思うのだが、

それで合っているのか、そもそもなんで「フカ」なのか？

帰ってネットでいろいろ調べているうちに、

見た目による比喩表現だということが分かった。

フカ（鮫）はウワバミ（蛇）と同じく大口を開けることから、

大酒飲みの蔑称（別称もしくは代名詞）になったとある。

フカにしてみれば謂われのない誹謗中傷だよね。
：
さらに、広島県安芸郡蒲刈町に、面白い方言を見つけた。

大酒飲みの事をゴトベー（五斗兵衛）*1 と呼ぶ。

五斗も飲むという意味から付いた仇名だろうね。

その他確かに、フカホドノム（フカほど飲む）という表現もあった。

また同じく、歌舞伎の演目：五斗三番（ごとさんば）に登場する

五斗兵衛（ごとべえ：後藤又兵衛）*2 も、

五斗（９０㍑）の酒を平気で飲むことから酒豪の喩えに引き出されている。
：
*1 ２０１８年暮れに推敲していると、出典が分からなくなっている。
*2 『義経腰越状』（よしつねこしごえじょう）五斗三番（ごとさんば）
義経の話を、豊臣氏の大坂落城に置き換えて、五斗兵衛（後藤又兵衛）を主人公にして上演している。
http://www.eg-gm.jp/e_guide/memo/ya/memo_yositunekosigoejyou.html

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

バイクは乗り手を選べない

バイクは乗り手を選べない。

50CCバイクは、数年間に3度買って5度盗まれた。無くなってから3日間気付かなかったり、またある時は、1階のバイク置き場から盗まれていく様子の一 部始終を、3階踊り場から見ていた時がある、リアルタイムでだが、あの時は素早かったなあ、と。しかしそのいずれも、旅路の果てワタシの元に帰ってきた。

さて特筆はそのうちの1台であるこれ。早朝、バイク窃盗犯の逮捕シーンを見せられることに。夏場、午前5時過ぎだったか警察署から電話。「届け出の盗難バイクが見つかりましたので来て確認をお願いします」と、眠いもへったくれもない。

バイクがないのでかみさんと早朝、旧北署へチャリを走らせる。連れて行かれたのは、とある集合住宅(アパート)前の駐輪場。離れた位置に止めたパトカーから様子を窺う警察官、その横にかみさんとワタシ。

しばらくして降りてきたのはジャンパー姿の若者。「今から出勤か、朝早いんだな」と感心していたか。で若者、バイクに近づきキーを差し込んでという時、足 早に歩み寄った警察官が事務的な声で「今から逮捕します」とひと言。突然現れた警察官に若者、固まっていたように見えた。

戻ってきたバイクには。バックミラーやらキーホルダー何やらオプションが付けられて少し格好良くなっていた。サンキューを言いたい気分だったが、あの若者、前科がついたのだろうかと要らぬ心配、いずれもワタシの悪い性格。

また盗難バイクの内1台は「ラッタッタ」。伊女優ソフィア・ローレンのCMが強インパクト だったが、簡易50CCというか廉価版バイクというか、かなり粗悪な代物だった。これを、高松から伊予三島まで途中ガソリンを盗みながら走らせていたとい うからご苦労だ。荷カゴに灯油ポンプが積まれていた。窃盗常習の男だったと聞いた。その方面へ出かけるという人に頼んで、軽ボンゴ

に積んで持ち帰って貰っ た。

バイクで行ける距離ならチャリでも十分ＯＫ、という訳で今はチャリ専門。1万円未満のメイド・イン・中国だが、がに股漕ぎに臆することなくよく走る。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

割り箸一本！

割り箸一本！

かなり以前、

コンビニ・サンクスで『20品目のお弁当』（今はもうないだろうね）と

『缶ビール』を買って高松競輪・特観席へ。さてレースの合間に昼飯をと

弁当を開けるが、なんと箸袋の中で“対にくっついている”はずの

ハシの片側が抜け落ちているよ。なんという欠陥品、前代未聞だ！

1 本じゃ弁当を掴めんし・・どうするおまえ（おいらのこと）、

場内食堂へ箸だけ貰いにも行けんしなあ、

としばらく逡巡したのち仕方なく2本に折って使ったよ。

何しろ上手く用をなさないものだから、口へお弁当を運ぶより先に、

口がお弁当を迎えに行くという、史上最短の使い勝手の悪い箸だったぞ・・う！

Ｐhotoはサンクス・20種類のお弁当と競輪毎日

越路吹雪とカントリーソング

もとより性格柄、男女の情愛をテーマにした歌よりも、

深刻なことはさらりと受け流してウィットに富んだ詩に仕上げた、

そんな歌が好きだ。

越路吹雪のポップスやシャンソンは岩谷時子の作詞によって、

男女の愛の機微が巧みなレトリックで綴られていることもあり、

まず言葉が、そしてまた越路の不世出（ふせいしゅつ）な声質が、

私の五臓六腑に染みわたる。
：
一方カントリーソングも好きだ。

アメリカ南西部が舞台のこの歌。何せ移民で成り立っている国、

西欧の楽曲が混ざり合って昇華している、というかアメリカナイズされている。

ご多分に漏れずカントリーソングも男女のことを沢山歌っている。

が、流石訴訟の国だからか自分の悪行はどこかへ置いといて、

ひたすら相手の非を責めるのだ、そうだ。

男も女も、人生哲学など小難しいことは一切歌わないのである。

この豪放磊落（らいらく）さが、

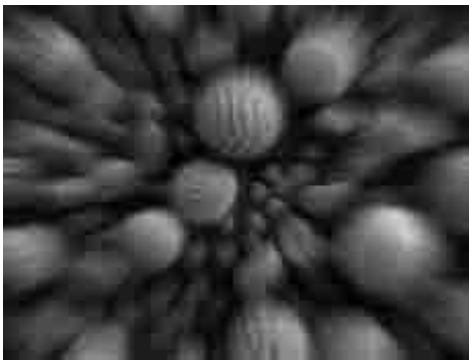
私の耳にアメリカ南西部の心地よく乾いた風を吹かせているのだと思う、多分。

原語の歌詞を理解していないので、「多分そうだ」としか言えないが。

“愛と憎”が絡み合うと、演歌になるのだろうか。

Ｐhotoは、サントリー広告写真、秋山庄太郎撮影

花粉のオノマトペ



花粉のオノマトペ

花粉の飛ぶ音（オノマトペ：擬音）は

「ぶっしゅゆるるぅう！しゅううんんん！」・・

ミクロな花粉にとって大気の分子はかなり身近な大きさ、

きっと凄まじい抵抗感がある筈だ。

その中を高速で飛び交うわけだから、大気にあらがい擦れ合う音は、

花粉の耳をつんざく爆音のようなけたたましさだと思われる。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

暗号打電

暗号打電

1950年朝鮮戦争、北の突撃合図は『ポップン』（暴風）。

1941年真珠湾攻撃、

海軍の打電暗号は『新高山“にいたかやま”登れ』(全軍突撃せよ)、

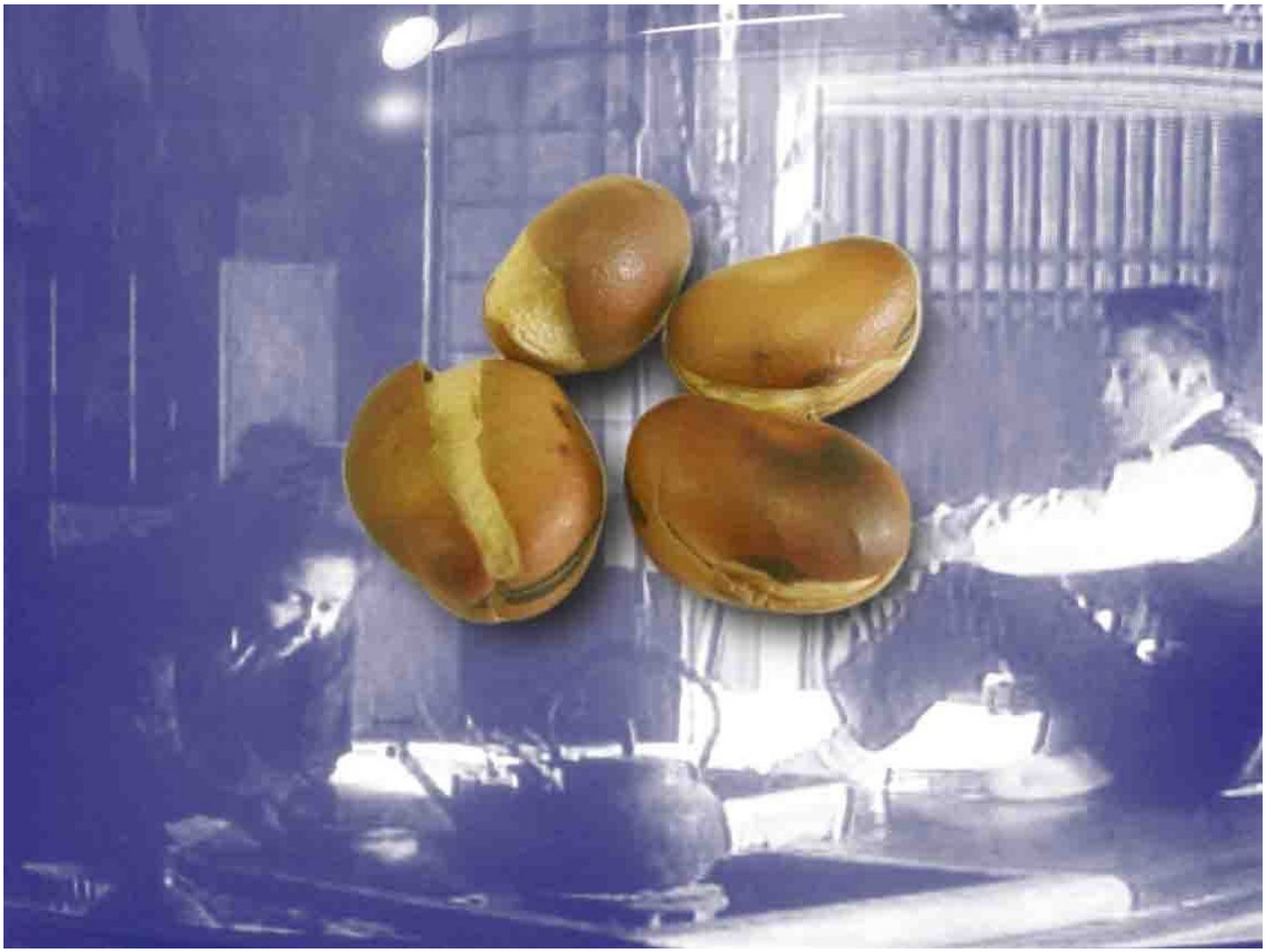
『トラトラトラ』(我、奇襲に成功せり)。

時を呼応して陸軍が香港攻撃時に打電した『ハナサク、ハナサク』など、

この種の暗号はどこか洒落ている。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

真之（さねゆき）の炒り豆



『坂の上の雲』全５話（２００９年版ＤＶＤ）をようやく観終えた。
２０１１年、日露戦争（日本海大海戦）まで続くというから製作年数も遠大。
心ならずも鬼籍に入って最後まで観られない人も。

さて、明治人の気質は「楽天　Ｏｐｔｉｍｉｓｍ」にあるというのだが、
そのフレーズに似合っていたのが、
主人公・秋山真之が豆を囓（かじ）るシーン。
砲艦筑紫の甲板でもそうだったが、実によく食べていた。
真之の帰省時、囲炉裏で母・貞が彼のために煎っていた豆がそれである。
食べ物だからか俄然と興味が湧いてきた。

物語を観ていて煎り豆であることは分かった、
囓る音もパリボリッと小気味いい。
だが何豆なのだ。そら豆だとちょっと大きすぎるが、
大豆だとあんな音は、しかし他にどういった豆が・・・。

いろいろな人に訊ねているうちに、Ｓ企画Ｆ某氏が突き止めた、
しかも商品まで買ってきてくれた。なるほどそら豆だ、
囓りやすいように小粒に揃えてある。
：
＄％＆様（ワタシの名前）
さて、先日より謎とされてきた豆の件ですが、
Ｉｎｔｅｒｎｅｔで検索していると、
ＮＨＫ昼の『スタジオパークからこんにちは』で、

本木氏がゲストだった回の撮影こぼれ話で、
「煎りそら豆が・・・」という発言がありました。
なお、そら豆を煎ったものを「へんこつ豆」と呼ぶそうです。
Ｓ企画　Ｆ某
：
Ｆ某ちゃんへ
へんこつまめ、それ方言じゃろかなもし。
そら豆パリボリっちゃあ、
ほんにじゅんさんはがいなのお。　正岡子規（幼名・升）

なにいうちょるか、
のぼさんの方が、よっぽどがいじゃがいじゃ。　秋山真之（幼名・淳五郎）

やかましい、身の回りを単純明快にせないかんぞな、
茶碗は二人で一つで充分じゃきに。　秋山好古

時代は小説じゃ。ちょっと視点を変えての、
猫が主人公の、そんなん考えとるんじゃ。　夏目漱石（本名・金之助）

ほやけんどあにさん、猫てどないに喋るんじゃろかなもし。　子規の妹・律
Ｆ某ちゃん、煎り豆までもろうて、だんだん！　＄％＆
：
一部方言に乱れ。

ＰhotoはＮＨＫ『坂の上の雲』、煎り豆は『筒井の豆菓子』

オニさんとカミナリ

「あれ、オニだ！」「失敬な、ぼくはカミナリです！」

カミナリさんは風神雷神図の“雷神”として描かれているが、

童話にも出てくるオニさんは一体“何者”なのさ、という疑問・・で調べてみた。

壱岐市に伝わる昔話には、鬼と雷は仲の悪い兄弟でいつも喧嘩ばっかり。

子どもの機嫌をとるために父親は、鬼には鉄の棒を、雷には太鼓を買い与えた。

鬼は鉄の棒を持って地獄に下り、

雷は太鼓を叩きながら天に昇って行ったと書かれている。

ま、それはともかく、

“超自然的な存在で、しかも恐怖をもたらすもの”として鬼の姿をあてはめた、

雷も破壊神としてそのカテゴリーに入るから同じような姿に描かれた・・

このあたりが、カミナリさんとオニさんの出自だろうね。

余談だが、オニさんのコスチュームは、

鬼門すなわち丑寅の方向だから、“牛の角と虎のパンツ”になっている、

という辻褄（つじつま）合わせ。・・あれって牛のツノ（角）なんだよ！

また、かみなりの語源は「神鳴り」、

その昔は神が鳴らすものと信じられていた。

Ｐhotoは、長谷川町子原作漫画から無断転載。不可の場合はご一報を。

韓国にパチンコがあった、禁止された

詭弁のロジック

：

韓国女性歌手グループ・Ｔ-ＡＲＡ（ティアラ）が、

日本のパチンコ（遊技機メーカー）広告に出演したことを巡って、

韓国内で一悶着が起きている。酒類会社の広告オファーを断ったのに、

日本のパチンコ広告に出演したからだ。所属事務所が出したコメントがいい。

韓国内では“パチンコは賭博である”と、イメージが悪いにもかかわらず、

「パチンコは韓国でよく知られているように、ギャンブルではない。

健全なレジャー産業の一環とした、娯楽を意味する」と、苦しいエクスキューズ。

パチンコはギャンブル（あえて賭博とは言わず）でなく娯楽だ。

詭弁なのか、出演料欲しさの強弁なのか、

何とも奇妙なロジック（論法）を使うなあと感心したものだが、

はて？韓国にパチンコ店なんてあったかな・・・との疑問が。

そこで、ネットで検索をしているとまっ先に下記のブログに行き当たった。

：

韓国でパチンコが禁止されたニュースを報道できない日本のマスコミ。

韓国では２００８年初めに、コンビニ店より多い１万５千軒のパチンコ店があり、

３兆円市場にまで成長していたが、同年６月に政府によって営業が禁止された。

その結果個人消費が如実に伸びている。

パチンコで浪費されていた金が、ショッピングで消費されるようになった、

というブログだ。

ニュースを報道できない日本のマスコミの事情は、

パチンコ業界の“ＣＭ収入減”を危惧するからに他ならない。

よく知らないが、パチンコは台湾でも禁止されているとか、そうなのか。

http://blog.goo.ne.jp/naosuke26_19/e/b861cab10957504290aebe97f14604df

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

足濯（すす）ぎ

足濯ぎ

江戸時代はひたすら徒歩の旅であった。

当時の主要街道は、東海道、中山道、日光道中、奥州道中、甲州道中の五街道。

旅人は明け方に出発して日暮れには旅籠へ投宿。

成人男子で1日40㎞（10里）歩いていたというからかなりの健脚、

現代人だとその日のうちに次の宿場まで辿り着けないかもね。

道中は、稲わらで編んだ草鞋(わらじ)を何足も履きつぶす。

履きつぶされた草鞋はまとめて肥料にされたというから、

リサイクルが徹底していた。

また、街道は整備こそされていたが足もとは土埃にまみれる。

そこで宿へ着くとまず、

宿女中たちがタライを持ってきて足を濯(すす)いでくれる。

時代劇だと、旅人たちの安堵感が足もとから伝わってくるシーンだ。

この足濯(すす)ぎ、一度経験してみたいものだ。

ちなみに宿泊賃は、1泊2食付200文（1,800円）といったところだから、

そこそこ安いのでは。

Ｐhotoは池波正太郎原作「剣客商売」の1シーン。掲載不可の場合はご一報を。

車寅次郎さん江

車寅次郎さん江

某（なにがし）氏の場合、メールなどに書く宛名の末尾は必ず「江」である。

「須磨さん江」「池下さん江」といった具合だ。

かなり以前からそうなので慣れっこになっていたのだが、ある日ふと気付いた。

この「江」は、シグネチャー（署名：Signature）による

視覚の同一性(Visual Identity)、もしくは自己表現の一種ではなかろうかと。

「さん江」は、花輪やノボリなどによく書かれているが、

これは助詞「へ」の時代色がかった表記である。ネット検索して調べてみると、

平安後期以降（10世紀）には「へ」「え」の仮名の発音が同じなので、

「江」と書くことがあったと云う。

さらに、室町時代後期 (15世紀)、江戸築城で知られる太田道灌の書状中に

「・・・江」の表記が見られる。

また、江戸時代（17世紀）の御触書などでは「江」は常に用いられている。

もともと「江」の語源は、海や湖が陸地に入り込んでいる “入り江”のことだが、

平仮名の宛て字として早くから使われていたのである。
・
某（なにがし）氏、新入社員の頃からこの「江」を使っていた。

実に30数年に亘ってだ。アイデンティティがあると云うか頑固であるというか。

そういえば池波正太郎の小説や、氏の原作劇画を愛読している。

宛名の書き方が時代がかっているはその所為（せい）かも、いやきっとそうだろうね。

余談だが、宛名の「池下さん江」と対をなす「池下より」、

これは「池下与利」と書く。利を与えるという意味があるのだそうだ。

またまたついでだが、お節の「四の重」、

「四」が「死」に通じて縁起が悪いというので「与の重」と書くってさ。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

括弧（かっこ）

括弧（かっこ）

「鯰（なまず）氏が『美味しいね』と言った」は、

セリフ中のセリフだが、

「肝が毒だというのは〈迷信〉さ」は、強調したい時に使う記号なのか。

〈　〉《　》は、元々日本語表記にはなく、

一番強調したい場合には“　”を使う・・!?

書いていて混乱する括弧記号。

・

以前、括弧で混乱していた時、知人のコピーライターに訊ねたところ、
返信メールが届いた。記録代わりに掲載しておく。

さてメール拝見しましたが、これは非常に難しい質問ですね。

私などの手には負えない問題ですよ。(これぞ国文学者の領域か?)

ひとつ言わせてほしいのは、私には私なりの使い方があって

私なりの使い方をやっているということです。

「」と『』では「」の中に強調したいものがあったり、

セリフがあったりする時に『』を使うというものです。

また“　”などはとてつもなく強調したい時に使うもので、

言わば「?」マークや「!」マークなどと同じ使い方をしています。

また〈　〉と《　》の使い方は「」と『』と同じですが、

「」の内容以上に強調したい時に<特に広告コピーなどで

使っているものだと思います。(日本語本来の表記にはありませんものね)

私も自己流なので、日本語自体の表記に関しては定かではありませんが、

広告コピーをいろいろ読んだ中でのセオリーとしては、

強調したい言葉を、より読者に知らしめるために工夫された符号てないかと

推測いたします。

とりとめもなく書きましたが、何となくおわかりいただけたでしょうか？

またお伺いしたいと思っていますので、反論などその時に。

よろしくお願いします。楽しみにしています。

それでは・・。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

たあ子

たあ子

デパ地下試食にワイン試飲をセットにした格安バイキングが三越に誕生！

したものの1週間で閉店。

押し寄せる客たちでデパート機能がマヒ、エスカレーターが煙を噴いた、

という都市レジェンドを夢想していると、“いただきさん”の婆ちゃんが

サイドカーを漕ぎながらやって来た。いつもの、向こう三軒両隣まで届く声で

「きょうの飯蛸、飯（いい）が詰まっとるのばっか選（よ）ってきたで、

どうなこれ！」と薦める。で、いつものようにそのオシに圧倒される。

妻(さい)が初めて年齢を訊くが何と83歳！とは、まだまだ元気でゲンキンだぞ。
・
さて子持ちならぬ、飯（いい）持ちと呼ぶべきか、初春が旬の飯蛸（いいだこ）、

人間の場合だと頭と覚しき辺りの胴に“ご飯粒大”の卵がビッシリと詰まっている。

じゃ頭はどこだよ、その下か、はさておき。いろいろとネット検索していると、

瀬戸内などの内海や沿岸部でよく獲れているんだとか。

食べるなら生がイチバンだぜ！などと

書いているお方がいたがどこを探してもそんなレシピは載っていなかった。

煮付け、酢味噌和え、おでん、天麩羅・・煮付けたのをお好み焼きに入れても。

炊き込みご飯というのもあったけど、

混ぜ込むとどれが飯（めし）やら飯（いい）やら。
・
Nicknameを付けるのなら、

飯蛸（いいだこ）の可愛いカタチはあれが成長した最終形だから、

断然“たあ子”が良い、なんてことを呟いているところへ訪れてきた

S社O氏、「飯蛸（いいだこ）はこの時季でしたっけ」

「釣りボートに同乗して行くんやけど、白くて丸いモノを好む習性があって」

「ルアーに『らっきょう』を付けて釣るんですよ」

「瀬戸内海は水深が浅いから、飯蛸が生息しとるんやね」

「たこつぼ・・？そんなん使って獲ったら漁師さんに怒られますがな」と、

途中ワタシの疑問に答えつつ・・なるほど“たあ子”、キミの性癖は読まれているぞ。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

MORO
ZOPE
2005 05 07

最後は自宅で、という声を随分と聞いてきた。

それほど我が家での死、在宅死がいいのか、ずっと疑問に感じていた。

今回、厚生労働省は、2025年までに

在宅死の割合を4割に引き上げると発表した。

ところが神奈川県保険医協会の意識調査では、

在宅死、すなわち“自宅で人生の終焉(しゅうえん)を迎える”事を

望むと答えた人は、全体のほんの1割。

その他の人々は病院でのそれを望んでいるという結果が出た。

厚生労働省が、終末期の医療費を減らそうと腐心しているのかどうか、

ともかくデータは真っ正直だね。

ワタシには田舎と都心にそれぞれ家があるのだが、

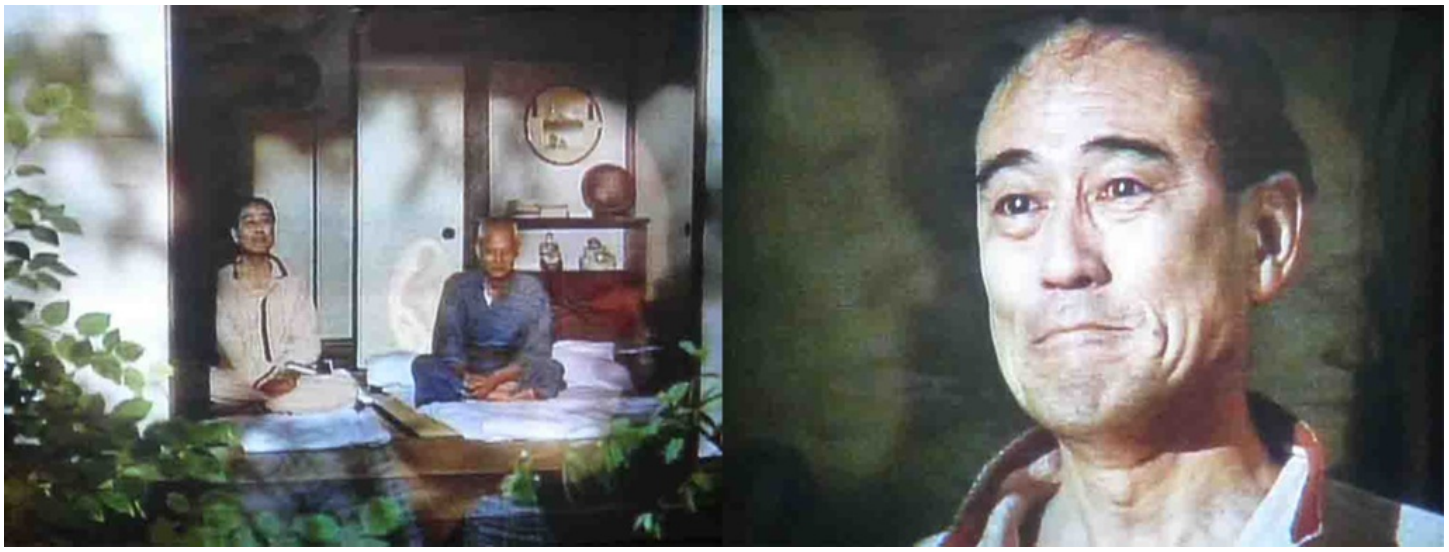
どちらででも御免蒙(こうむ)りたいと思っている。

そうだな、風通しの良い病室で、

最後の息を深く静かに吐いて（もしくは吸って）この世に左様ならしたい。

その瞬間ワタシの意識は“無”になる。“無”だぜ。

告知



告知

前後があってもみんな死ぬんだ。特別なような顔をするな。

：
ＮＨＫドラマ『今朝の秋』、『ながらえば』『冬構え』と併せて、

いずれも山田太一原作、笠智衆主演の３部作。

特に『今朝の秋』は杉村春子を加えて小津映画を彷彿させるが、

画像には心地よい緊張感が漂っている。

末期肝臓ガンの息子（杉浦直樹・５３歳）の最期を一緒に暮らすために、

父（笠・８０歳）、別れた妻（杉村）、息子の妻（倍賞美津子）、

その娘たちが蓼科の別荘に集まる。やがて樹々が色づき、秋に死去。

まだ告知のなかった時代のもどかしさが、

ドラマに錯綜感と深みを持たせているのだが、存外これがテーマの一つかも。

：
息子の言葉。病状を隠されているのを感じ取った息子の揺れ動く心

…こんな気持ちのまま死ねるとは思えないけど、
　まだきっとじたばたすると思うけど、出来るだけ見苦しくはしたくないな。

…どうせ死ぬなら、覚悟して死にたいんです。騙されて死ぬなんて・・・。

…死ぬと分かっても、違うと言われて、もう希望を持ってますよ。

：
母親の言葉

…あと３ヵ月だと知らせて、安らかに逝かせる自信もない。

：
父親の言葉

…このまま治る治ると言うて（息子と）死に別れていいのか。

父が息子に、励ましのような叱咤の言葉

…前後があってもみんな死ぬんだ。特別なような顔をするな。

こんな強烈なセリフは初めてだ、父親だからこそかけられる言葉か。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

花見どき

花見どき

…この週末はどやろか。

…咲くには咲くやろけど花見には向かんやろな。

…そうかいなやっぱし寒いかなあ。

と、毎年土日を跨（また）いだ前後の2週間は、天気予報と睨めっこをしている。

跨ぐといえば、近くの住宅密集地を散歩中に見かけた、

路地を挟んで2階屋根同士をアーチ状に繋ぐように咲き誇っていた

“跨（また）ぎ桜”が、大層ビューティフルだった。

その翌年も楽しみに観に行ったが跡形もなく伐採されていた。

ふと、敷地に桜の樹を植えている人は毎年満開の時季になると、

落ち着いて居られないのだという話を思い出した。

散り始めも風情があっていいんだがなあ、

というのは行きずりの人間の戯言（たわごと）。

当事者としては、近所からいつ苦情が寄せられはしないか、

花びらで排水口や屋根樋が詰まって困りますとか、また、

庭の掃除が面倒で手間だなどと言われしないか、気が気ではないのだとか。

で、ここでまた話は横道へ。

昨夜観た古い戦争映画でこんな台詞が・・「散る桜 残る桜も 散る桜」。

よく聞いて耳に残っているので調べてみると

“良寛”辞世の句として有名なものだった。

人の命を桜に例えていて、戦争中には遺書などによく見られたという。

いずれにしても、ことしの花見はいつになりますか、気が気では。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

新円切替

新円切替_お復習（さら）い

1946年（昭和21年）2月16日夕刻、

政府は戦後インフ対策として新紙幣（新円）発行を発表した。

敗戦に伴い預金引き出しが集中、

政府も軍発注物資の代金精算を実施したことから、

貨幣流通量が一気に膨れ上がり、インフレが発生した。

発表翌日（昭和21年）2月17日より預金封鎖して、

従来の紙幣（旧円）は強制的に銀行へ預金させる一方で、

1946（昭和21年）年3月3日付けで旧円の市場流通の差し止め、

一世帯月の引き出し額を500円以内に制限した。

市民が戦前に持っていた現金資産は、戦時国債と同様に無価値同然となった。

この間わずか2週間というスピード施策であった。

また、新紙幣の発行準備が整わず、

証紙付き紙幣がピンチヒッターとして使われることに。

・

Digest

戦後、わずか2週間（1946年2月16日～3月3日）で国民の現金資産をゼロにした『新円切替』。旧円の預金封鎖、新円との交換制限、旧円の使用禁止・・と矢継ぎ早に実施されたものの新紙幣の発行準備が整わず、証紙付きの紙幣がピンチヒッターとして使われる。

日本の新円切替　こんな具合だった

http://nozawa22.cocolog-nifty.com/nozawa22/2009/12/nozawa-08e7.html

弁トー！

弁ト～！

［吉備野庵］という人のblogで面白い話に遭遇したので、

補足を交えて書いてみることにする。

・
第二次世界大戦前、日独伊3国同盟のイタリア、ムッソリーニ総統が来日して、

東海道線・沼津駅へ到着した時のこと。

日伊両国の小旗を手にした民衆が大挙詰めかけて「ベニート！ベニート！」と、

ムッソリーニのファーストネームを連呼して大歓声をあげたと、

随行していたイタリアの記者が本国へ特電を送った。

このニュースは翌日、日伊友好の証しとして

現地の新聞に「総統、日本で大歓迎！」と大きく報道された。

しかし実はこれ、記者がウィットを効かせた創作、

実際の歓声は「ベニート！ベニート！」ではなく、

駅弁売りが車窓の乗客たちに掛けていた

「弁トー、弁当、ベントー！」の売り声だった、というのである。

売り声を耳にした記者が、ファーストネームのベニート（Benito）に

響きがよく似ていることに気付いて悪戯心を起こした、という顛末（てんまつ）。

日本の新聞社も「これは恰好のエピソードになる！」と追従した。

これで日伊友好の絆が深まり、かつ新聞紙面の出来映えも良くなったので、

まずは美談として語り継がれている。

ちょっと長いがムッソリーニのフルネームは、

ベニート・アミルカレ・アンドレア・ムッソリーニだが、これは余談。
・
・・・とここまで書いて、さてムッソリーニの来日が、

西暦何年だったのかネット検索したがまるでヒットしない。

途中、年表の基本的な食い違いに気付いた。

日独伊3国同盟（1940）は、ドイツのポーランド侵攻から始まった

第二次世界大戦（1939～）後に締結されている、大戦前ではないのである。

そのような戦争の真っ只中、遙か極東の地まで友好訪問にやって来れる筈がない。

そう、彼は一度として来日していなかった。

とすると先ほどの話はすべてが真っ赤な“嘘”ということに・・はてさて!?

さらに検索を続けていると、ムッソリーニの娘エッダが来日したという、

ほんの数行の胡散臭さい記述に行き当たった。

それは、彼女が駅のホームにいる時「ベニート！ベニート！」と、

お父さんの名前を連呼する人に気付いた。

その声の方を見ると“駅弁売り”が「ベントー、弁トー！」と

声を上げていたと書かれた、父を娘に代えただけの代物（しろもの）だった。

結局これらエピソードは、“弁トーとベニート”、

お！響きがよく似ていて面白いじゃないか、と気付いた当時の人が

創作した小咄の類（たぐい）ではなかったか、と考える次第で・・。

ちなみにエッダ・ムッソリーニ、

及び同盟国ドイツの総統アドルフ・ヒトラー（Adolf Hitler）も、

一度として来日していない。

・

出所元
【吉備野庵】
マスコミが作りだした神話のオハナシ
http://zenmz.exblog.jp/13518203/

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

たまごかけご飯

たまごかけご飯

『東京日日新聞（毎日新聞）』の主筆・岸田吟香（洋画家・岸田劉生の父）は、

明治を代表するジャーナリスト、日本初の従軍記者、明治30年代の人である。

彼は晩年よく、朝ご飯にナマ卵を落として、

しょう油ではなく焼き塩と唐辛子を振りかけ食べていた。

鶏卵は当時かなり高価だったので、とても珍しいご飯の食べ方だった。

彼のそんなエピソードがひとり歩きして、やがて伝説化、

『たまごかけご飯』の元祖になったといわれている。

で、どれくらい貴重だったのか調べてみると、

明治30年代、鶏卵1個15銭、物価指標となる米は10キロ115銭。

現在の米価をベースに鶏卵価格を単純スライドすると、

1個約600円（計算合ってる？）ということに！

はともかく『たまごかけご飯』は純和食、日本人のソウルフード。

誰にでも『たまごかけご飯』にまつわる思い出を持っているかと・・。

・

出所元【吉備野庵】

たかが・・されど“たまごかけごはん”

http://zenmz.exblog.jp/12929332/

画像は、卵かけご飯専用醤油『おたまはん』、初めて聞いたよこんなの。

さんりんしゃ

ゲシュタルト崩壊

『思考のスパイラル』・・・この言葉に出会ったのは、maG3氏のブログ。

同じ言葉を何度も口に出しているうちに、

その言葉の持つ本来の意味が分からなくなる、

という内容を軽妙に記述していた。
：
つい先日オフィスで、スタッフなど数人と取り留めもない話をしていた時、

『思考のスパイラル』の話になった。

その話に頷（うなず）いた女性が、「ええありますよ。５～６歳の頃、

三輪車を百回ぐらい唱えたことがあるんですよ」

「すると最後には三輪車が三輪車でなくなり、

違ったものに思えるんですよ」

「そうですか、あれが『思考のスパイラル』って言うんですかぁ」

へえ、そんな事あるんだ。そうだ今度、私の名前を唱えてみるか。

すると別の人間に思えてくる、なんてことないよな。

動物やモノに思えたりするかもな。
：
他にも、週刊誌のコラムにこんな文章が。

同じ漢字一文字（何の文字だったか失念）を何遍も、

それこそ何遍も書き続けていると、

その内書いている文字がよれよれになって、違った文字に変化するって。
：
このブログを書いた４年後の２０１４年、

似たようなことをツイートしたところ早々に返信があった。

「それは『ゲシュタルト崩壊』ですよ」と。

すぐさまＹａｈｏｏ！辞書を引いてみると成る程、

心理学（知覚現象）用語の一つとして掲載されていた。

『ゲシュタルト崩壊』は、言葉がバラバラに切り離して認識される現象のこと。

しかしながらこれを『思考のスパイラル』とした

maG3氏の表現力に改めて感心至極！
：
maG3氏のブログの１ページ『火事がありました』
http://blogs.yahoo.co.jp/magmagmag73/3127545.html

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

ウグイス（鶯）のお話し

ウグイス（鶯）のお話し

ウグイスの子どもって、鳴くのとてもヘタなんですよ、知ってます？

と話し始めたF某氏。なにを言い出すのかと耳を傾けると、要旨はこうだ。

ごく一般的な表現である「ほーほけきょ」は成鳥の鳴き声、

幼い頃は「ほーほほっ」とか「けきょきょ」「ほーほけけぇっ」などで、

よく聴いていると実に幼く辿々（たどたど）しい。

それが育つに連れてあの美しい鳴き声にスキルアップすると言うのだ。

F某氏ったらなんでこんな話を唐突に始めたのか、

会話の前後に糸口もなかったのだが、ふむふむ！と聞いていた。

五月は皐月、小鳥たちが発するメロディに心を和まされるシーズン、

なかでもウグイスは広く知られた、俳句の春の季語でもあった。

その週末に訪れた、山懐に抱かれた瀬戸内海を臨む高台にある

『ひょうたん島温泉』（ホテル・映画館併設）の青空駐車場を降りると、

山あいの全方位からウグイスの鳴き声が聞こえてくるではないか♪

その自由気儘かつパノラミックな囀（さえず）りに

しばらく耳を澄ましていると・・・

あら！F某氏の話の通りだ、それぞれに個性があることに気付く。

前知識がなければその違いを聞き逃すところ。

期せずして、ウグイスの鳴き比べを愉しめたというお話し。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

パノラマ・パルク

２００７年、近くの二番町公園（香川県高松市）。

有名な『パノラマ・メスダグ』＊ならぬ、『パノラマ・パルク』だ。

ＳＬ機関車が据え付けられている。

市税（当時の地方紙によると２千数百万円）を投じて造られた、

殿さん（高松藩主・生駒某だったか）石像も鎮座している。

このＳＬ内に十数年前、赤ちゃんが捨てられていた。

時の市長は『高松花子』と名付けたという。何という無神経。

春爛漫を感じさせる公園は、老若男女で思い思いに賑わっている。

野球に興じる少年たち、おばあちゃんと愛犬散歩に訪れた少女、

近くの女子高生たちや、“新しい命”もお母さんに連れられて来たようだ。

この週末、栗林公園は花見客でさぞかし賑わうことだろう。
：
写真の右下をクリックすると、モニターをはみ出すほど大きくなります！

パノラマ・メスダグ＊
メスダグは制作者の名前。オランダ・ハーグに展示してある、
海辺を描いた３６０度の絵画（１４.５ｍ×１２０ｍ）。
ちなみに『パノラマ』はギリシア語で『すべてを見る』という意味。

ひょうたん島

近ごろ気に入りの、高台にあるシーサイド温泉。

お湯がちょっとしょっぱい（塩からい）のでガイドを調べると、

泉質＝カルシウム・ナトリウムー塩化物泉（中性等張性冷鉱泉）と書いてあった。

はともかく、瀬戸内のパノラマビューがなんともさわやかな雰囲気をかもしている。

なかでも風呂の小窓から見える連なった島が、

ひょっこりひょうたん島～♪♫・・みたいで何ともユーモラス！

と感動していたのだが、

受付のお姉さんやフロア主任らしいおばさんに島の名前を訊ねたところ、

「あれは二つの島が重なって見えているんですよ」

「・・えっ!?」と目を凝らすと、確かに島が前後離れているように見える。

たまたま近所から温泉に来ていたおじさんは、マッサージ機にかかりながら

「二つ併せて丸亀（まるかめ）島やけど、一つずつの島名は、さあ？」との答え。

然しながら帰途、玄関ホール設えられていた観光マップには、

それぞれの島に名前が付けられていた。

左（沖）のまん丸い島が“男島”、右の長細い島が“女島”と書かれていたが、

地元の人たちも知らないということは、後付けの“通称（あだ名）”なんだろうか。
・
で、帰ってパソコンで空撮Ｐhotoを拡大してみると成る程、離れているよ！

これだと眺める位置によってカタチがいろいろ変化するんだろうな。

オリジナル版

二度目の『レオン』を観たが何か変だよ、あるべきシーンがカットされている、

レオンとマチルダがコンビで標的を暗殺するシーンだ。

パッケージには“オリジナル版”とあったが、

調べてみるとどうやらテレビ用に編集されているものらしい。

劇場公開されている“完全版”よりも放送枠の関係で10数分も短い。

これは論外、後味が悪い！

その他、プロデューサーが編集権を持つハリウッド映画では、

公開後監督が編集し直す“ディレクターズカット版”があるが、

どうなんだろうこっちは。監督の思い入れが強すぎてかえって面白くないかも。
・
写真は映画の印象シーン、レオンがマチルダを抱き上げるシーン、

2画面に分かれている。
・
マチルダ「あなたに恋したみたい」。レオン「初めてで何故分かる？」

マチルダ「ここが温かいの」（お腹のあたりに手をあてて）

迫真の演技

迫真の演技！

映画「アラバマ物語」で、迫真の演技!?をする犬・・。

アラバマの田舎町、往来を痙攣しながら近づいてくる狂犬病の野犬。

もさることながら、

この映画のシーンすべてがハリウッドに建てられたオープンセットとは！

はさておき、日本における狂犬病はすでに駆除されて何十年来存在しない、

と獣医に聞いたことを思い出したが（なら予防注射はなんのため？）、

こんなシーンに出くわしても、

ここは米国南部じゃないからライフルもないし、恐いぞ。

Ｐhotoは映画シーンを無断撮影。不可の場合はご一報を。

名優ジャック・レモン

酒とバラの日々_Days of wine and roses

ジャック・レモンの代名詞のような言葉、悲喜劇_tragicomedy。

『酒とバラの日々』も彼の代表作の一つか。

映画は、妻役のリー・レミック共々アル中_alcoholicに陥り、

断酒、飲酒を繰り返しながら破滅していく、という凄まじいストーリーだが、

コメディアンの面目躍如たる演技も。

劇中、寄付によって成り立っているという、

アル中患者更生の相互補助団体が登場するが、アメリカならではか。

『愛しのシバよ帰れ』（バート・ランカスター）を彷彿させる映画だった。

…アル中は、何年断酒しても一滴飲めば元の木阿弥に、という病気だという。

しかしながら、欧米のアル中患者には悲惨さと狂気を感じる！
・
Ｐhotoはモニター画面をデジ撮。

二人が出会ったファストシーンから少し経ったところ、エレベーター内で、

ジャック・レモンの仕草、こちらを向いているのがリー・レミック。

椋鳥（むくどり）の矢

冬の夕刻、曇り空。ベランダに出て様子を眺める近所の人たち。

突如鳥の大群が飛来してきた。ムクドリである。

高松中央通りの街路樹・楠(くすのき)をねぐらにしているこの鳥、

一体何が起こったのか。ここら辺りで見かけるのは30年来初めて。

あちらの通りの電線から、こちらへの通りへと大挙群れ飛ぶ様子は、

圧巻といえばそうだが、ちょっと世紀末の感。

その中の一枚。

「おい、どっち行く？」「おれたち、あっちへ」。電線が矢印に見える。

.

♪椋鳥たべた　木の実をたべた　何の木の実をたべた　椋の木の実をたべた♪

一夫一妻を旨とするこの鳥、大きさは雀と鳩の間ぐらいだとか。

そう言えば、ヒッチコックの名作『鳥』を彷彿させる。

ヒゲの効能

昭和37年（1962）、東北地方を中心に出回った精巧なニセ千円札は、

戦後最大のニセ札事件「チー37号」と呼ばれた。

これが直接の契機となって、

それまで使われていた聖徳太子の千円札から

新しい千円札に切り替えられる事になる。

その時紙幣に使用される肖像を、数人の候補の中から最後、

明治経済界の重鎮『渋沢栄一』と元勲『伊藤博文』の二人で争った。

その結果、ニセ札防止の観点から“ヒゲがある”事が決定的要因となって、

「伊藤博文」が選ばれた。

また「ヒゲがある方が見栄えがいいじゃないか」という評価も多かった。
・

昭和38年（1963）に発行された新千円札は、

それまでの重厚一辺倒のものから、

白を基調にした斬新なデザインで人気を博した。

その後、ニセ札防止技術も格段に進歩して、女性の肖像紙幣も登場。

その内、まるで毛のない『弘法大師』の肖像紙幣が誕生するかもね。
・
上部『渋沢栄一』の紙幣Ｐhotoは下図（したず）
平成6年（1994）2月26日　産経新聞より抜粋

作風

2007年のほぼ同時期に、

和歌山と高松の祭り公募ポスターのイラストが酷似、

というかそっくりなのでちょっとした騒ぎになったことが。

もちろんデザイナーは同じだが、

遺憾の意を伝えた市に答えたコメントが毅然として立派だった。

曰く「自分の作風であり、デザインは違うもの」。

そのあとどうなったのかは報道されていないが、

ま、丸く収まったことでしょう。

やあ、日本人！

やあ、日本人！

・

数年前（2006年あたり）、日曜日の上海住居区。

路上や家の中庭など、

いたる所で麻雀やカードに興じる人たちに出会う。

そのなかの一組。

このおじさん、一人勝ちで機嫌がいい。

「これ見なよ」と私に、煙草の下に置いた紙幣束を指さした。

一方背中を見せているご婦人にカメラを向けると、

「%”&（＊＝）！」(あっち行っとくれ、大負けなんだから)

とばかりに凄い剣幕でまくし立てられた。

路上書道

上海旅行でのワンショット。

日曜日。最近新しく造園されたような小公園に通りかかった。

公園の中では、カゴに入れた小鳥を持ち寄って美声を競い合う人、

小鳥売りの行商人に群がる人など、大勢の人で賑わっていた。

小公園の出口では、路上書道をする人、談義する人、眺める人。

先を付けた水入りペットボトルが筆代わり。

書くあとから乾いていくのだが、それこそ次々と揮毫(きごう)していた。

さすが書の国、中国、道具もすごいな。

鯰（なまず）と亀

初夏の陽気に誘われて、ぷらっと散策に出かけた

栗林公園（庭園とも_Ritsurin Garden）の池で、

鯰（なまず）がゆらゆら、

傍らに亀さんがぷかぷかと、ひねもす・・。
・
その間おおよそ1メートルほど、

鯰は湖底でうずくまり、亀さんは首だけ突きだして浮かんでいる、

のどかな午後でした。

els Project
개인전
park jaehee
雜民畫書藝展覽會
2008분당의 가을
개인전 · 작품전
사랑의 어머니
2008 KOREA ART FESTIVAL

食後の読書

・

仁寺洞(インサドン・骨董通り)で見かけた彫塑。

食後の読書に耽っているように見受けられるのだが。

それとも誰かが仕掛けたシャレなのか。

伊勢地方の注連縄

春先に伊勢地方へ出かけることに。

タクシーで伊勢神宮へ行く道すがら、民家の軒先に変わった飾り物を見つけた。

運転者さんに尋ねると、注連縄(しめなわ)だという。

全部で4種類あり、それぞれの謂われを聞いたのだが、

そのうちの一つだけ失念してしまった・・・(蘇民將來子孫家)だ。

この地方に伝わる民話もしくは神話が基になっていると言っていたような。

はともかく、目出度いものには違いないでしょ。

しかしなんでこの時期に注連縄飾りを・・・と訊ねると、

この地方は一年中しているのだという、合理的でいいやね。

なんてったってお伊勢さん、日本の神様の総代表だから。

Ｐhotoはおはらい町で採取。

小沢昭一

小沢昭一

俳優だと凄演したのが、邦画『越後つついし親知らず』（1964）、

怪演したのが邦画『幕末太陽傳』（1957）か。

その他肩書き多数の才人、小沢昭一の一人語り

『DVD唐来参和（とうらいさんな）』（井上ひさし原作）を観る。

1982年から引退興行と銘打って660回！公演したと。

映画ではかなりお目にかかっているが、

この人のこういった芸を観るのは初めてのこと。

唐来参和（とうらいさんな）〖1744?～1810〗江戸後期の狂歌師・戯作者。別号：質草少々。洒落本や黄表紙を著作。・・小沢昭一の一人語り『唐来参 和（とうらいさんな）』を見聞きするまで、（ワタシにとって）無名の人。別号からして機知（ウィット）が利いていないような。
・
話変わってそのステージに設えられた年表パネルに『江戸大洪水』の文字が。

早速調べてみると、1742（寛保2年）利根川が大氾濫を起こしたと。

遡って江戸の大半が焼失した明暦の大火（1657・明暦3年）、

別名振り袖火事から始まって、近年は関東大震災（1923・大正12年）、

東京大空襲（1945・昭和20年）。江戸改め東京、あれだけの大人口はパワーだね、

その都度最新の都市計画によってフェニックスのごとく復活。

しかし、この数百年に何の天変地異もなかったとしたら、

いまだ江戸風情が全都に色濃く遺っているかも知れない・・それはそれで風情が。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

やあ、主（あるじ）！

薄路（すすきみち）尾を振る君が　まさか声

老齢になった君は、人間の歳でいえば90歳を悠に過ぎている。

ときどきの散歩行、人間の言葉で話しかけてくるような気になる。

初散歩　手綱からませ　春野噛む

ころころ子犬は散歩の仕方も分からない。飛び跳ねながら歩いているが、

手綱が脚にからまって池の土手をころがる。季節は春。

霜の朝　主（あるじ）起きろよ　手綱持て

秋から冬は犬にとって散歩の好適季。散歩をねだる鳴き声は媚びた声だが、

主（あるじ）には強要されているように聞こえる。

主はまだ寝ていたいのだ。

春疾風　口腔にはらませ　田を駆ける

切り株ばかりの田を、手綱から解き放たれた犬が駆けぬけている。

犬が巻き起こす風が激しいのか、それとも春疾風なのか。

逃げ水を　追い君はるか　畦の果て

切り株だけの田圃を、逃げ水を追い掛けるように犬が駆けている。

もう畦道(あぜみち)の向こうまで行ってしまった。

春街路　鎖ひきずり　我かっ歩

犬小屋の鎖が外れたのだろう。

どこかの飼い犬がシャリシャリと鎖を引きずって、

一人街路を闊歩(かっぽ)している。

背筋はビン！と姿勢良く、尾はクルッ！と巻いている。

きちんとした居住まいの飼い犬だ。

まわりを見渡すが飼い主の姿は見えない。不安が過（よ）ぎる。

秋雲を　見上げる君は　哲学犬

・

写真は2代目『チーコ』ミックス、17歳で老衰死。

初代『チーコ』は紀州犬、15歳(人間年齢だと約90歳だとか)で同様に老衰死。

保健所では同じ名前で登録したままだから、

記録上は32年間生きていたことになる。

2007.02.04

全国共通の名前

飼犬は手綱を放すとテリトリーの範囲内を気ままに闊歩(かっぽ)する。

で行った先々で、本来と違った名前を頂戴することになる。

カレーショップの前で、毎日のようにおねだりする“柴風”の犬は、

この近所では『シバちゃん』、店では『シバコ』と呼ばれている。

もっともなネーミングだ。本名は「さあなんでしょ」と写真の女性。

私の田舎家の愛犬も、近所の子どもやおばあちゃんたちから

数個の名前を頂戴している。

まさか本名が『二代目チーコ号』だとは思わないからか、オシャレなものが多い。

犬の名前は全国どこへ行っても、『ワンちゃん』で通じそうだがね。

おなかの赤ちゃんを『あーちゃん』と呼ぶことに似ていなくもないか。

・

やあ、主(あるじ)！
http://p.booklog.jp/admin/write/2501278

眼からウロコの脳科学！

人の悪口を言うと自分が傷つく・・・その理由に唖然！

出典　http://matome.naver.jp/odai/2136590852040993701 … …
・
脳は〖主語〗（私、きみ、彼などの人代名詞や名前）を理解できない、

という性質を持っている。〖主語〗が理解できないので、

自分が喋った言葉のすべてが自分に向けられていると思ってしまう。

つまり人の悪口を言ったにもかかわらず、

脳の中では自分が悪口を言われていると判断して、

傷つき気分を害することになってしまう。

人をけなしてばかりいる人は、

次第に自己嫌悪に陥り、結果、自分以外の人に無意識裡に攻撃的になる。

心の無間地獄である。その反対に人を褒めると、

『主語』が理解できない脳は自分が褒められていると思って

気分が良くなり自尊（自分が優れている）意識が高まる。

この脳の特性を理解して相手にかける言葉に気を遣うことが、

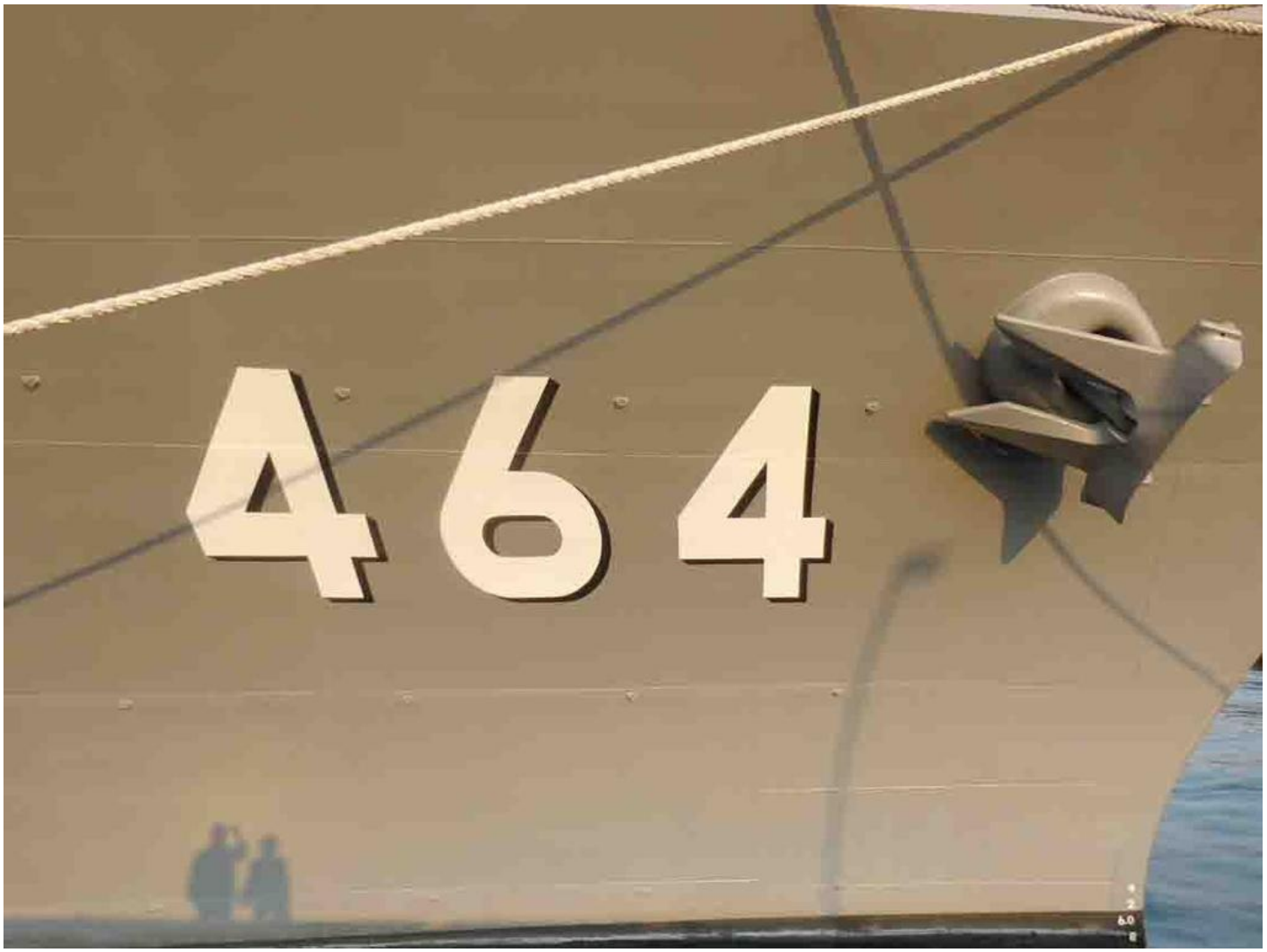
結果的に自分をも大切にすることにつながる、という訳だ。

褒め言葉も謗（そし）り言葉も、やがて我が身に返ってくる！

そういうことだね。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

二人の影



自衛艦を見学していたら、日脚が長くなってきた。

・
…もう帰るか。

…そやな。

サンポート高松 5万トン級岸壁

聴く短編小説

太宰治の短編小説「竹青（ちくせい）」を朗読CDで聴いた。

大概の言葉は聴いただけで、

その漢字が目に浮かぶとタカをくくっていたのだが、間違いであった。

殊にこの短編、昔の中国を舞台にしている。

論語やらなにやら、聴くだけでは到底理解できないフレーズが、

これでもかと語られる。

主人公からして「ぎょよう」(魚容)という名前である。

その他、しゃくらん(灼爛)、ばんだのはな(万朶の花)、

ごおうびょう(呉王廟)などなど、

皆目、goo辞書漢字にリンクしない。

Yahoo!検索すると原作がルビ付きで全文に亘って公開されていたので、

聴いて読んで、言葉の容姿がようやく理解できたという訳だ。

ちなみに「竹青」は魚容の妻になるカラスの名前、「唖々（ああ）」と鳴く。

蛇足だが小説で読むと、おれのことを「乃公」と表記していた。

当節日本では、さしずめ「乃公乃公詐欺」とでも書き換えられようか。
・
Ｐhotoは高松日赤屋上から撮った2羽のカラス、多分夫婦だろうね。

オール黒靴（官給品）！

オール黒靴（官給品）！

これで二度目の遭遇、

前回は駐車場に自衛隊のマイクロバスが待機していた。

今回は近くに停めているのか見えない。

ラーメン『回天』の店内は、若い自衛隊員さま一行でほぼ満席の様相、

何といっても全員制服だから目立つよね。

入るなり、申し訳なさそうな顔をしたお姉さんから

「20分ほどお待ちいただくことになりますが」と。

すでに10数人が座敷に、テーブル席に4人の女性隊員が座って、

無料白菜キムチをつつきながら“お待ち顔”だよ。

でさて次々に食事が運ばれて・・・座敷席の半数ほどが食べ終わると

入れ替わるように次の一団が。

（近くで待機していたマイクロバスが送致したんだろうね）

「全部で25人やったわ、男20人、女5人や」と妻（さい）、

きっちり数えているわ。しかしみんな若いからよく食べるなあ、

ラーメン大と餃子・唐揚げのセットメニューばっかだよ。
・
前回もそうだったが特筆はこの靴、官給品だからすべて黒の同タイプ。

これがサイズ大小でずらっと並んでいるから壮観。

はともかくほぼ全員、帰りしなに靴を手にとって名前の確認をしているが、

どこを見ているのかよく分からない。

で「どこに名前を書いているんですか？」と妻（さい）の質問。

・・・靴底に黒サインペンでとの答え、黒靴の底に黒サインペンで、だったよ。

・
無料 白菜キムチ（ラーメン回天）
http://blogs.yahoo.co.jp/axros03/42789452.html

お花見

お花見

木曜日
ここんとこ寒気団やら雨前線やらが蔓延（はびこ）ってムチャクチャなお天気、なにやら危ういことしのお花見、なら映画でお先にと邦画『桜ノ森の満開の下』（1975）を。坂口安吾の原作は［青空文庫］で閲覧OKだったが、かなり短編だね、読まなかったけど。タイトルバックを眺めていると、また脚本（併記） クレジットに富岡多恵子の名前が、Wikipediaするとやはり詩人であり作家であると。この映画の特筆すべき観どころは唯一つ、人を狂気に連れ込むと いう満開桜のシーン。一瞬！志麻姉さんの吹き替えオッパイ、さすがいい形だね。

・

金曜日
先ほどの春雷、いまはすっかり晴れあがって、お花見の行方が心配だぞ・・・春雷とは、と調べていると邦画『春雷』（1939）がヒットするも、第2次大戦 が勃発した年に公開された映画、まるで知らない。それよか記憶に新しいのが邦画『遠雷』（1981_立松和平原作）、これはもう一遍観てもいいよな、名作 のようだから。

・

土曜日

いざや寝ん　お花見は又　翌（あす）の事　瓢箪鯰

・

日曜日
朝。晴れたよ！と喜ぶ間もなく近所のお婆ちゃんが「降ってきたで」と通りの向こうから、途中、ぺっぺっ！と唾を吐いていたでと妻(さい)。と間もなく彼方 （あっち）から傘をさしたおばちゃん二人・・でまた駐車のフロントガラスを陽ざしが眩く照らして！どっちかにしろよ、きょうの天気、いや晴れろてくれよ な。

昼。終戦直後の買い出しじゃないけれど、野菜のストックがなくなったよ、特に九条ネギが！で今から産直店へ・・ いやその前に、と空模様を睨んで、おや晴れ間が、栗林庭園は !? と雨雲レーダーを・・！便利な世の中になったものだ、ミッドウェー海戦にこんなのが帝国海軍にあったら、なんてことを。

先ほど30㎞ほど市心から南下して産直店へ行ってきたが、小屋を出たところで雹（ひょう）が降り始めたのには驚いたぞ！出かけたときは晴れだったのに、記 憶に残る天気のお花見サンデーだね。 野菜ウォッチはというと、ワラビやマンバの旬が過ぎようとしている、里芋は終わったのか、タケノコが走りか・・と産直店内をうろうろ。

午後。で、やってきました栗林庭園、ごご4時すぎ薄暮のお花見。年間スケジュールをこなすため

の強行実施だ。桜の馬場は花も冷え冷え！人もまばら、重装備 をしてきたものの毛糸編みマフラーを次第にほっかぶりしている、という体たらく。どこかでドラム缶焚き火してないかなあ、なんちゃって、ただ暖が恋し い・・おやライトアップしたか、LEDの青白い灯りが余計寒さを感じさせるじゃないか。
ふむ、帰りにいつもの出口茶屋で『白玉ぜんざい』をいただきますか、これもお定まりだから。
あすから新学期なので、本日ドーター率いる豆吉（まめきち）ちゃんたちはイオンへ学用品ショッピングへ。帰りに立ち寄ったらしいが・・ワタシはすでにＺＺ。

木曜日の花見

木曜日の花見_2015

去年は、雨の合間の冷え込むなか無理矢理お花見に出かけて散々な目に。

二の轍は踏まぬと今年はずっと天気予報を睨めっこ・・・。

がしかし週末からずっと雨＆曇りのマーク、

こうなれば平日に行くしかない、とするといつ、それは今日でしょ！

で急きょピンポイント花見を決行。

妻（さい）、その他の問合せがあって栗林公園に電話をすると

「ただいま満開です～♪♫」との返事。

ちょっと膚寒いのでフリースを着こんで、お弁当＆缶ビール、携帯ラジオなど

準備万端整えて公園（庭園とも言う）までチャリを走らせる。

桜の園内はご老人、子ども連れのお母さんなど時間が自由な身分の人たちや、

加えて施設から大挙してやって来た車いすの一団が目立って賑わっている。

例年の婚礼前撮りカップルと撮影スタッフ、に加えてその友だちや家族など、

また見合い写真撮影だろうか、孫娘と覚しき振り袖女性の傍らに、

でっかいズームを装着した一眼レフカメラを持ちかねている老人とその妻とか、

晴れやかな色柄のシーンがそこかしこで。

いつもと同じ園内の路を通っていつもの桜の馬場でシートを敷いて・・・。

食べて飲んで、満開の桜の下で死体になるだいご味、やめられませんね。

フィニッシュは例年、公園外の甘み処〖ほとり〗で『白たまぜんざい』で休止符。

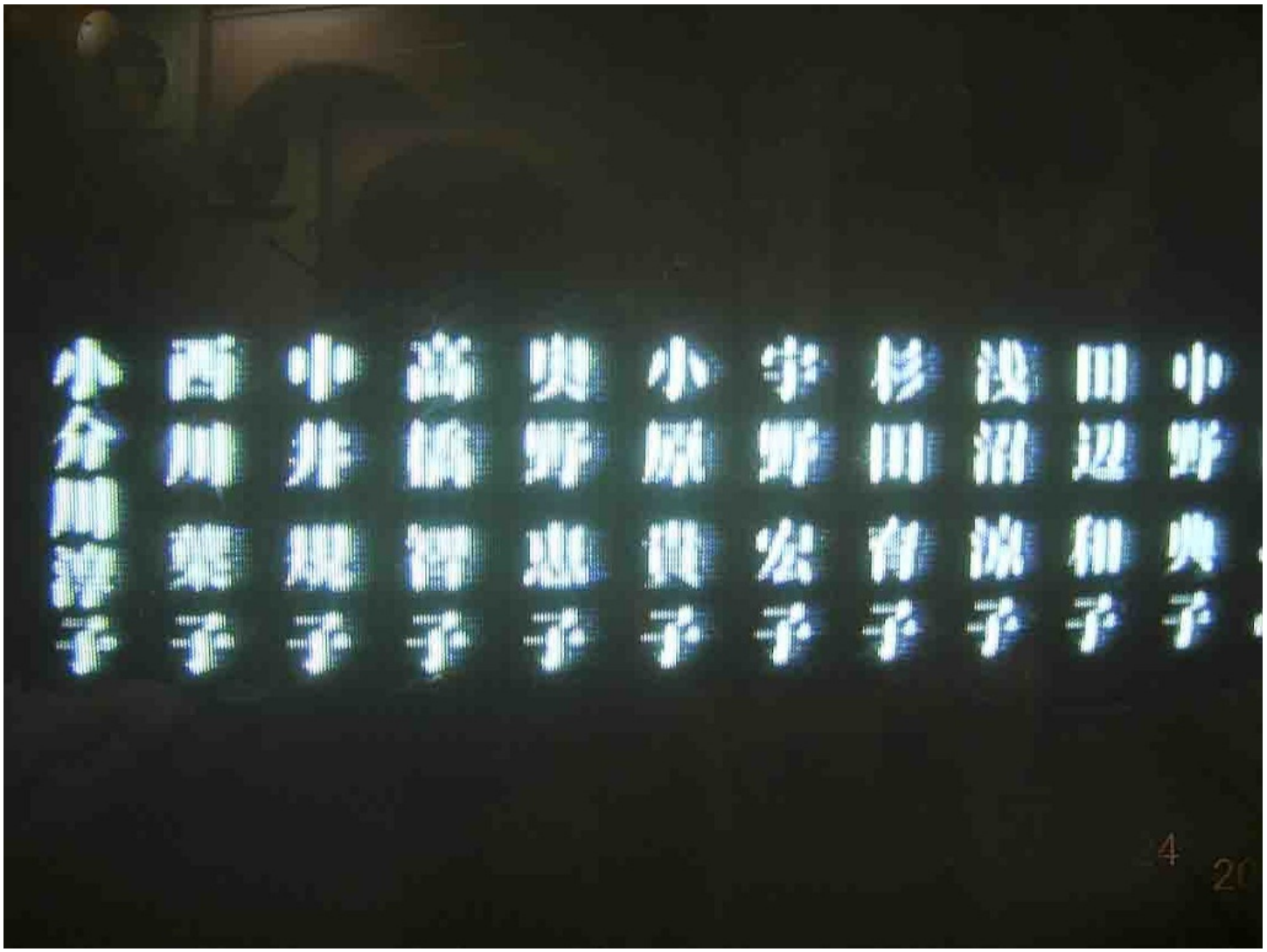
店内に入ると、ここにも老人グループが大挙して歓談中。

・

お花見は冥土の旅の一話柄（いちわへい）　めでたくもあり　めでたくもなし

瓢箪鯰

写真は、帰途立ち寄った近所の公園の蒸気機関車（C58／1938年製造）と桜



名前には世相を映して流行りがある。これは「時代の気分」と呼んでもいい。

さて先日観た邦画DVD「歓喜の歌」、年末恒例の「第九」を歌うママさんコーラスをモチーフにした喜劇であるが、映画の余韻に浸りつつエンドロールを眺め ていて驚いた。実に延々と、これでもかと「子」の付く名前が流されるのだ。おそらく出演者(ママさんコーラス)のクレジットであろうと推察できたのだが。

今はもうマイノリティになった「子」の付く名前、その発祥は遠く平安時代。広く一般に浸透したのは、近代に入った大正全期から昭和中期である。公家や華族 たちの女性名に憧れた大衆が、自分たちの子どもにもと名付け始めた。それ以前の「チヱ」「サワ」などの片仮名2音節から、高貴かつ貞淑なイメージがある、 「智恵子」「沢子」などの漢字3音節になった。

しかしこの名前も、昭和45年(1970)のドルショックや、続くオイルショックを境に減っていくことに。成る程「時代の気分」か。「子」の付く名前、 30年前の人気ランキングにかろうじてベスト10に入っているぐらいで、次第に姿を消している。20年前のランキングでは既に皆無になっている。

今年のマジョリティは、「大翔(ひろと、ゆうと)」や「さくら」だが、この先どう変遷していくのだろう。

余談だが「歓喜の歌」、主演・小林薫の“泣き”の演技に目を瞠（みは）った。自我が溶けきったこんな表情、初めて観た。怪演である。

2012.10_追記　最近その謂われをネットで知ったのだが、女性の名前に付けられている「子」という漢字は、「『一』から『了』まで自分の人生を全う出来るように」との願いが込められているという、ついぞ初耳な話を。

シコふんじゃった

コクトーの相撲観戦記

柄本明が暗唱するジャン・コクトーの“相撲観戦”詩から始まった、

映画『シコふんじゃった』（1992）。

ずっと探していた詩の、それも全文（？）がようやく見つかった。

訳詞は、その時コクトーを案内していた堀口大學による（らしい）。

・

土俵の上では、銀の装束、漆の烏帽子、昆虫の触角という扮装に、

彼らの職権を象徴する硝子なしの

鏡のようなものを持ち添えた行司に見守られて、

両力士は、互いに観察し合っている。

立ち会いはほんの数秒しかかからないのだが、

仕切りの一度一度が、沈黙に区切られる叫喚の嵐を捲き起す。

・

力士たちは、桃色の若い巨人で、

シクスティン礼拝堂の天井画から抜け出して来た

類稀な人種のように思える。或る者は伝来の訓練によって、

巨大な腹と成熟し切った婦人の乳房とを見せている。

ただし、この乳房も、決して肥大漢のそれではない。

それは古昔の美学に準拠して特殊の割合で分布された力を示している。

他の者は、僕らの国の競技場で見かけると同じ筋骨を見せている。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

山田洋次VS渡邊あゆみ

山田洋次VS渡邊あゆみ

100年インタビュー『山田洋次』（NHK・VIDEO_2007）。

山田洋次が黒澤明の家へ遊びに行ったとき、

奥の部屋で黒澤が小津安二郎の『東京物語』（VIDEO）を

食い入るように観ていた、という話は有名。

「そうか黒澤も小津監督の信奉者だったのか」と山田は感心したのだとか。

小津組で助監督をしていた山田は、小津監督を反面教師にしていた。

曰く、パターン化したホームドラマ的なストーリー、

カメラ固定の長回しカットなどを嫌っていた。

しかし後年「山田さん、小津監督の映画に似てきたね」と言われて気づいた、

いつの間にか追随していたのだと。

いまだ印象に強い映画、

長崎の小島から北海道開拓村へ移住する『家族』（1970）を調べていると、

『故郷』（1972）、『遙かなる山の呼び声』（1980）と合わせて

民子三部作と呼ばれている。演じているのは倍賞千恵子。

小津映画で原節子が演じた紀子三部作に倣（なら）ったか。
・
アナウンサーとゲストの90分真剣勝負・・・ 聞き手の渡邊あゆみが秀逸、

山田映画のすべてを熟知した語りと、会話へのレスポンス！

彼女はまた、NHK『歴史秘話ヒストリア』でもアナウンスを担当している。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

素晴らしき戦争

前線はあった。

映画『素晴らしき戦争』 OH What a Lovely War_145分。

第１次世界大戦をミュージカル仕立てで描いた1969年製作のイギリス映画。

ローレンス・オリヴィエ、ケネス・モア、コリン・ファレル、

ダーク・ボガードなど見知った名優（Sirクラス）たちが出演している。

オーストリア皇太子夫妻暗殺を引き金に、1914年第一次世界大戦が勃発。

塹壕戦による長期化及び近代兵器の使用で、

1918年まで4年に亘った戦いで軍人だけで戦死者900万人を数えた。

ノーマンズランド（No man's land）はこの大戦時にできた言葉で、

両陣営（塹壕）の中間地帯を指す。ドイツ兵とイギリス兵たちがここで、

ウィスキーを回し飲みしながらクリスマスを祝うシーンが秀逸！

また戦場に咲いた赤いポピーが鮮烈な印象。

・

ミュージカル仕立てだから歌がある。

ラストシーン、丘陵いっぱいに広がる白い十字架をバックに流れる歌声、

僕らは決して答えないだろう。

前線はあった。どこにあるか分からなかったけど～♪♫

無謀な突撃を繰り返す塹壕戦を担わされた兵士たちは、

口を閉ざしたまま何も語ろうとしない・・！

・

どんなに危険だったか聞かれても、

僕らは決して答えないだろう。

稼いだ金でコーヒーを飲み、

きれいな女を競って口説いた。

楽な仕事だったと話すだろう。

人はきっと尋ねるはずだ。

なぜ勲章を授からなかったのと。

僕らは決して答えないだろう。

前線はあった。

どこにあるのか分からなかったけど。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

下記文章は映画『ディア・ピョンヤン』のタイトルスーパー（原文ママ）

・

在日は、約99％以上が「韓国出身」であるが、政治的背景によりふたつの国籍、「韓国籍」と、いわゆる「朝鮮籍」にわかれる。

同じ朝鮮半島「南」出身同士のイデオロギーの対立が激化するなか、在日は生活の貧困と同時に、日本社会での激しい民族差別に苦しんでいた。

北を支持する、在日本朝鮮人総聯合会「朝鮮総聯」と、南を支持する、在日本大韓民国民団「民団」に分かれた。

当時、韓国の政治経済状況は不安定であり、一方で旧ソ連の影響下、経済成長がみられた北朝鮮に、多くの在日が希望の光を求めた。

1959年から20数年間の「帰国事業」で9万人以上の「在日」が北朝鮮に渡る。「民族の大移動」と美化されたマスコミの報道と、北朝鮮を「地上の楽園」とした啓蒙に、多くの「南」出身の在日が希望を託して「北」へ渡った。

多くの「帰国者」とその家族が日本と北朝鮮の国交樹立、民族統一を信じたがまだ実現されていない。「帰国者」と呼ばれる彼らは、一度も訪れたことのない未知の国である北朝鮮に渡った人たちである。

北へ渡った「在日」たちが日本に帰ることは、今も許されないままである。

・

Ｐhotoは　出港時スナップと万景峰号　いずれも映画から

チャビー・チェッカー

チャビー・チェッカー

洋画『トンネル』（2001_167分）
1961年8月ベルリン、一夜にして東西ドイツは分断、強固な壁が築かれつつあった。ベルリンの壁の下、西から東へ145mのトンネルを掘って脱出しようとする人たち。

…刑務所で覚えたの？エルビス・プレスリーの踊り。
…これは、チャビー・チェッカーだ。
・
…脱出が成功したら、みんなで踊りましょ。

The Twist - Chubby Checker
https://www.youtube.com/watch?v=im9XuJJXylw …
・
ふと！これダイエットにいいんじゃないかと、かなりの運動量だし親子でリズムに乗って愉しめそうだし。。。レッツツイスト！　♪♫♩♬
だとか。。。ドーター嫁ぎ先の母のツイスト、かなり巧かったな！チャビー・チェッカー観てたのかな、どうかな？

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

ねじ式と自動記述

ねじ式と自動記述_パートカラーだ

つげ義春全集6に収録されている漫画『ねじ式』（1968_ガロ誌）や、

その他一部（すべてを読んでいないので、一部と）、

『夜が掴む』『雨の中の慾情』『夢の散歩』などの作品は、

作家の記憶にある出来事や夢の世界を、思いつきで繋いだものであるようだ。

したがって何を表現しているのか分からない、

コンセプトの感じられない独りよがりな漫画である、と云える・・

と久し振りに『ねじ式』を再読して、当時と同じく結論づけた。

夢の世界は根源的な“生”であるとか、“性”に回帰しているので、

時として読む人をデジャブな気持ちに陥らせる、

前述した作品には夢そのものが表現されていたり、

また一部には夢を彷彿させるコマがそこかしこに見受けられる。

この漫画の発表時は、思いついた言葉を追いかけて詩を紡いでいく、

「自動記述」（オートマティスム）という表現法が

取りざたされた時代でもあったか。

これは、何も決めず何も考えず、

ただ書き進めていくという手法だから、もとより内容はない。

何にしろ『ねじ式』の、シュールに思える表現が当時のコミック読者、

おそらく大学生を中心に持てはやされたのだと思う。

余談だが「自動記述」で書いたものは、詩でもなんでもなく、

言葉の持つ“連想と韻”を繋いだだけの羅列でしかない。

しかしながら、つげ義春の描く漫画が深遠な意味合いを感じさせるのは、

何故なんだろうね。

でいま、氏の全集すべてを読破してみようか思っている。

・

じどうきじゅつ【自動記述 écriture automatique[フランス]】
1919年，フランスの詩人ブルトンによって創始され，シュルレアリスム運動発足の前提となった実験的記述法。道徳上，美学上のあらゆる先入・主観を捨 て，しかもあらかじめ何を書くかをいっさい考えずに，できるだけ速く自動的に，文章を書き進めてゆく行為を言う。精神病理学の診察法にこれと似たもの(自 動書記)があり，もと精神科の医学生だったブルトンがその方法を参考にしたことは確かだが，しかし書くという行為そのものを問い直す文学的意図を伴ってい た点で，後者とは異なる。　＊コトバンクから転載

Photoは『つげ義春全集_6』から無断転載。不可の場合はご一報を。

刑事（デカ）と刑事（けいじ）

昨年（２００７年）１１月、

香川県坂出市の「祖母と子供二人の殺人事件」を解決した坂出警察署に、

青森県弘前市の酒造メーカーから宅配便が届いた。

捜査員の労をねぎらう言葉に、清酒が添えられていた。その名も「刑事（デカ）」。

「刑事」といえばたまたま読んでいた劇画単行本『鬼平犯科帳』に、

「寡黙だが盗賊を相手に“刑事”に働く火盗改方与力・・・」という、

見慣れない言い回しの台詞があった。で、両方ともYahoo!検索してみた。

酒は齋藤酒造店の「純米酒・刑事（デカ）」、

辛口なのか甘口なのか、はたまた旨いのかどうか、一度飲んでみたいもの。

商いに敏（さと）いというべきなのかどうか、まずは美談の類（たぐい）だ。

で「刑事に働く」とは

『刑法による事件（刑事事件）を解決するべく働く』とのこと。

現在なら差し詰め強盗犯を捕らえるために働く刑事、

即ち「刑事」に働く「刑事」となるのだが。

時代を経て刑事が刑事になったというと、ますます言葉がこんがらがる。
：
週刊新潮　２００８年３月２０日号「Ｂ級」を読んで。

ギャグライター

スピーチライター。

政治家に関わりの深い職業のようである。

感心するのは政治家が、他人が書いた長々とした原稿を、

よくもきちんと覚えられ、かつ立て板に水のように喋れるということ。

米大統領ジョン・F・ケネディのスピーチライターには、

外交や経済など分野ごとに専門家が控えていた。

なかでも笑えるのが、その名の通りの役を担う『ギャグライター』。

『ボブ・ホープやダニー・ケイ』がその役割を担っていた。

喜劇界のビッグネームたちだ。

マリリン・モンローと浮き名を流したケネディのことだから、

ハリウッドとのつながりは充分考えられる。

で、ケネディってどんなギャグ飛ばしていたっけ。
・
これもスピーチライターの仕事でしょ。

1962年、彼がホワイトハウスに49人のノーベル賞受賞者を招いた席で、

私は今日お集まりいただいた皆さまが、

ホワイトハウスにかつて集められた、

最も秀逸な才能と知識の集大成だと思います。

トーマス・ジェファーソン＊がここで、一人で食事をした時を除いては。

と挨拶した。成る程上手いんじゃないの！
・
＊第3代米大統領

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

縁起キャラ

縁起キャラ

【嘘_壱】

申し訳御座いません！と土下座している（としか見えない）『お詫び福助』。

来店していきなり平身低頭、座布団に顔を埋められてもなあ。

・・この店、なんかやらかしたのかい？

おい顔を見せろよ、と覗きこんだら舌を出して笑っていやがった。

・

【本文】

『福助人形』は、江戸中期に全国で自然発生的に誕生した縁起のキャラクター、

各地で名前が付けられているが代表的なそれを“叶福助”という。

“福助”には各地にモデルとなった人物がいるようで、

その人たちの共通項は“頭でっかち”かつ“小柄”であるとか。

代表的な『福助人形』には『お詫び福助』『お辞儀福助』、

その他『たわら福助』『左うちわ福助』などがあるそうだ。

さて写真はポピュラーな『お詫び福助』。

『招き猫』と並んで土産物屋さんの店頭を賑わせているのだが、

このカタチがいつの時代に出来たのか、ネット検索しても明瞭（はっきり）しない。

『お辞儀福助』とは別キャラであり、ポーズ（お辞儀角度）が異なっている。

『お詫び福助』は、商売繁盛を祈願してつくられた置物（のはず）だが、

深々と座布団に顔をくっつけているので、その名前の通り平身低頭、

見ようによっては土下座して謝っているとしか思えない。

さらに、伏した顔は手と一体化しているので覗きこんでも見えない。

この“顔がない”ことも、

『お詫び福助』の生い立ちを訝（いぶか）しがらせている一因なのだが。

・・古い文献が存在しないということはもしかすると、

近年商品化されたのではと、推察できたりもする。
・
余談だが、『招き猫』も福を招き入れる縁起置物として広く親しまれている。

左手あげが“人を招く”、右手あげが“お金を招く”とされているのだが、

時代を反映して『恋愛』『長寿』などの福を招くタイプも作られているそうな。

・・とするとこんなのどう、

“招き猫”を小脇に抱いた“左うちわ福助”なんていうのは？

・
【嘘_弐】

これだとプラ成型するのに顔の造作が面倒だなあ、

いっそのこと土下座させちゃえ！

・・かくして『お辞儀福助』から『お詫び福助』に進化して、

工場生産が叶ったとさ。
・
【嘘_参】

左右の手を懸命に振る“業突（ごうつく）張り”招き猫を小脇に抱いて、

米俵（こめだわら）の上でカンラカンラ♪♬と高笑いをする

“大言壮語”左うちわ福助を見たっ！
・
【嘘_与】

おい顔を見せろよ、と覗きこんだら

舌を出して笑っていやがらあ・・のはずが。

ノッペラ棒の顔には漆黒の宇宙、銀河系がとぐろを巻いていたよ、恐いっ！

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

家康がつくった檀家制度

1615年（慶長二十年）五月八日豊臣家滅ぶ。

同年（元和元年）七月七日、

体制存続を願う徳川家康は老いにむち打ち、『武家諸法度』『禁中（皇室）法度』、

諸宗本山へと立て続けに諸法度を発令。
・
で現在にも影響を及ぼしている『諸宗派諸法度』を発令した結果・・・！

一）寺社・神社は市役所のようにその土地の人たちを管轄する存在となる。

二）檀家を逃す心配のなくなった寺院は、
　　ますます堕落の道をたどり葬式屋へと変貌してゆく。

これにより、檀那寺・檀家の関係が連綿と（否応もなく）続けられることになる。

ちなみに寺社が管理する〖住民台帳〗には、

先祖代々の出自や身分などが記載されていたという。
・
1616年（元和二年）四月十七日、家康死去。享年75歳。

大河コミック『風雲児たち』（みなもと太郎）

盆がまた

盆がまた

図書館の蔵書、漫画本『サザエさん』（長谷川町子）の1ページ、

お盆を題材にした四コマ横の空白に、辿々（たどたど）しい漢字の書き取り。

“墓”の文字が思い出せなかったのか、拙（つたな）い鉛筆文字の羅列・・・

莫、菎、幕、蟇などに似通っていながら、

すべて漢字の体をなしていない文字擬（もど）きたち。

このお方にとって、“墓”の文字の造作がかなり難解だったようだ。

はともかく公共の本に落書きして汚さないでよね。
・
さて近ごろ、葬式仏教などと言って憚（はばか）らない人が多い。

少し遡ると、仏教は為政者が民衆を束ねて管理するために広めたもの、

それが今では求道者とは名ばかり。時代を経るごとに大衆と仏教が、

加速度的にかい離していく、寺はどこへ・・・。
・
とある日の法事中、歓談の間を選んでか唐突に、

旦那（だんな）寺の“セールスマン”あがりの住職が、

「お預かりしていた父上の骨壺をなくしまして」と言ってからもう十数年。
・
わが家の遺骨は自然に還れと、すべてお墓の骨室の土に撒いてある。

だから骨壺をなくしたと言われても、最早どれが誰の骨なのか分からない。

撒いた辺りの見当を付けて新しい骨壺に収めたものの、

盆が近づくと思い出す、檀家の寄進で新設した納骨堂で、

件（くだん）の住職は何を思って読経しているのか、と。
・
さて、よく時代劇で見かける墓参り、

草いきれの中に束の線香が香（かぐわ）しい煙をたなびかせている。

そんなシーンをいつもイメージしていたからやってみたが、

想像に違（たが）って煙が少ない。秋彼岸には、

もっと煙が風にたなびく一流メーカーの線香束を持っていかなきゃ。
・
地獄のカマの底が抜けたかや！の炎暑、

盆だからこんなTweetだってありだ・・・今夜も寝苦しいかね！

写真は『線香着火機』（数千円）ネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

暁の大捜索_日赤印象派

暁の大捜索

視界が朦朧（もうろう）と揺らいでいる。足取りがおぼつかない。

小径(こみち)をはさんで垂幕(すいばく)が幾つも立ち並んでいる。

うろ覚えの知識が私を、北阿の街区を彷徨(さまよ)っているように思わせた。

どれ程時間が経ったのだろうか、私は意識をなくしていたようだ。

目を開けて周りを見渡す。

垂幕だと思っていたのだが天蓋(てんがい)がない、

身近は片付けられて何もない、

様子が違う。そうだ、迷った挙げ句私はここで眠ってしまったのだ。

私の病室ではない、どこかの空きベッドのようだ。

起きあがり廊下へ出ると、3〜4人の男たちが私を見付けて騒ぎ始めた。

「＄（＊＝）＃％＆」「＃＄％”＆（＊＝）」みんな口々に何を言っているのだ、

私は眠い、もう少し寝かせてくれ。よく見れば白衣を着た医者のような人も。

あれ、向こうから妻(さい)が小走りでやってくる。

「どしたんや？」「＃％＆～」

面倒さを直感した私は誰にもかまわず、

一つ向こうの自分の部屋へ踵(きびす)を返した。

意識は幾分戻っていたのだが、カラダ全体が茫洋としている。

もう一度自分のベッドで目覚めた時には大方を忘れていた。
・
午前4時、ナースの定時巡回がある。その時私はベッドに居なかった、

靴もサンダルも置いたまま。とりあえずナースがトイレや近場を探して、

その後しばらくしていよいよ警備員、宿直のドクターなどが招集される。

かくして「暁の大捜索」が始まった。探しあぐねた彼らから

早暁午前6時前、起きたばかりの妻(さい)へ電話がかかることに。

履き物確認をして私が裸足であることが判明する、

「どうしたことだ、ひょっとして」と、

彼らが頭に浮かべた最悪の結末は何とも間抜けなことになった。
・
ナースたちは一日3交代、その都度患者の申し送りをする。

従って夕方にはフロアのナースたち全員の知るところに。

妻(さい)によると、近くの病室からお婆ちゃんたちが覗いていたそうだ。

この事件がどれぐらい院内に知れ渡ったのかは、

次回の入院ではっきりするのだが、それは後ほど。
・
オペ後の眼帯と近視裸眼、そして睡眠導入剤が

私を靄(もや)の彼方へ招き入れたといえる…なんて表現はどうさ。

八紘一宇の塔

八紘一宇の塔

『八紘一宇の塔』10銭紙幣　昭和19年発行。

当時、宮崎海岸に建てられていた八紘一宇（はっこういちう）＊の塔。

＊…大日本帝国のスローガン。

【天下を一つの家のようにする】という意味。

競艇の故笹川氏の提唱した「人類みな兄弟」が、現代語訳。

関東大震災で倒壊した『浅草凌雲閣』といい

『八紘一宇（はっこういちう）の塔』といい、一度観たかったね。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

鳥肌の立つカレー

鳥肌の立つカレー

それほど美味しいカレーだよ、ということか。
・
鳥肌すなわち“鶏膚”(とりはだ)。

・・・この言葉が私に、

田舎家の軒先でのシーンを瞬時にフラッシュバックさせる。

昭和20年末、その時5歳あたり。

アメリカの占領政策で農地解放は実施されたものの、

耕作面積4反足らず、二毛作の専業農家は貧しく、いつもひもじさを感じていた。

この頃の農家はどこでもそうだったが副業が盛ん。

私の家も卵を売るため、鶏舎に10数羽のニワトリを飼っていた。

ちょうどその頃、年老いた雌鶏1羽が卵を産まなくなった。

とどうなる、鶏を絞める、肉が食べられる、ご馳走にありつける!

祖父は喜色満面、出刃包丁を研ぐ。

儀式はまず鎌で首を刎(は)ねることから始まる、逆さに吊して血抜きをする、

湯を一杯に満たした洗濯タライの中で羽根をむしる。

やがて現れるのが、サブイボの親玉のような“鶏膚”だ。

一つの言葉が起爆剤となって、脳裏に白日のシーンが繰り返される、何度も。

フラッシュバックは瞬時に、しかも前後のみさかいなく、だ。

そのうち軒先はターヘル・アナトミア、鶏一羽まるごと解体ショー。

私は祖父が捌(さば)く鶏を、かぶりつきで食い入るように見つめる。

臓物のなかでもひときわ目を惹く“キンカン”の生々しい色。

陽ざしを浴びてきらめく黄金の卵。だからかその日はいつ思い出しても晴天。

夜はカレーライス。カレー粉と小麦粉を炒って作る、昔ながらのカレー。

翌朝もカレー。鍋底に残ったルーを水で薄めて炊いて、冷やご飯にかけた。

食い物にまつわる出来事は、記憶中枢と堅い絆で結ばれている。さすがだ。

余談だが、ニワトリは首を刎ねられてもしばらく走る。いや本当、私目撃者。

キンカン　卵白と卵殻（カラ）がつく前の卵黄。
フラッシュバック　過去の記憶や情景がはっきりと思い出されること。
ターヘル・アナトミア　解体新書。日本最初の西洋解剖学書の訳本。1774年刊。

おいらだって夢を見る。

おいらだって夢をみる。

おいらは犬である。

ご主人が買ってきた“猛犬注意”のサインを、ただただ恥ずかしく思う。

おいらは猛々しくなんてなく、むしろ小心。いやおいらだけでなく、

この町内の知り合いたちもみな、穏やかで茫洋としている。

手綱でつながれて、二食昼寝散歩付きの身分だから、暇で仕方がない。

あの頃は、といっても随分と昔のこと。

かすか、朝靄（あさもや）のような思い出だが、

猟犬として人間たちと一緒にイノシシや鹿、

時にはツキノワグマなどの大きな獲物に立ち向かったり、

住居の見張りをしたり、子供たちの遊び相手をしたりと、

毎日忙しく楽しかった。

時折見る夢は、野うさぎを追って駈けまわった森のこと。

おいらは犬である。年老いた家犬（いえいぬ）である。

耳で尾で、風を切って走った記憶も、もう薄れかけ始めている。
：
お、あのおやじ、今朝も散歩かあ。

しばらく表で見かけないので、
飼い主に聞いたところ2009年10月に亡くなっていた。

風

雀の子　風に嬲らる　菓子袋　追いかけスキップ　飽いたらなんしょ

いつもの朝の散歩中に足を止めた・・舗道の端っこをスキップしている小さな雀。餌でも探しているのか、その先にからっぽの菓子袋。柔らかい風に押されて袋が地を這う、追いかける雀、また風が。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

有馬稲子

有馬稲子

#この女優の特集上映が見たい

というハッシュタグがあったので、誰になるかなあと思い浮かべてみたが、

映画『東京暮色』（1957年）に限って云えば有馬稲子か・・・。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

やがてレジェンド

平成９年（１９９７）、
同行（どうぎょう）＊のＹ爺さんが亡くなったという知らせを受けて、翌日に執り行われる葬式の打合せにＹ氏宅に駆けつけた。

初めて入った他人の家。同行を親から引き継いだばかりですることもなく、仏間に座って様子を眺めていた。深々とした蒲団に寝かされた遺体、蒲団の上には作法に則（のっと）ってか、刀袋に入った脇差しが置かれていた。

とふと鴨居に掛かった額縁に眼が留まった。その中には『愛媛県知事』と大きく筆書きされた白い紙。任命書にしてはかなりシンプル、にしても『愛媛県知事』の書がなぜ香川県に・・・？

それからかなり経ってＷｉｋｉｐｅｄｉａを紐解くと、
廃藩置県が施行された５年後の１８７６年（明治９年）に、愛媛県に編入された香川県。１２年後の１８８８年（明治２１年）に再び分離する。（要約）
などと記されていた。なるほど！それだと、香川県に『愛媛県知事』の書が額装されていてもおかしくない訳だ。

が、今考えると本当に任命書だったのか疑わしいのだ。なぜならＹ爺さんの悪しき行いをお袋から聞いていたから。

・・・この爺さん、公務員（香川県庁職員）の立場を利用して、高松大空襲で消失した田畑台帳（登記謄本）を、終戦のどさくさにまぎれて自分の名義に書き換え（偽造）したという、“悪しき所業と噂”がそれぞれ一つずつあった。

農家の田畑は、財産分与以外で名義書き換えをしている人たちが極端に少ない。
「うちなんかまだ曾爺さんの名義のままやで」といった具合だ。高松大空襲で台帳が焼失していることなど誰も知らなかった。

さてこの“悪しき所業”が戦後数十年経って露呈して、一悶着をおこした。

Ｙ爺さんの葬儀を遡ること５年ほど前、初めての書き換えで市役所を訪れたＹ婆さん（苗字が同姓のＹ）、登記簿を閲覧して驚いた、Ｙ爺さんの名義になってい たのだ。それからは、元県庁職員だったＹ爺さんと持ち主のＹ婆さんが、お互いの田畑を挟んで近所四方に響き渡る大声で一方的に罵っていたと、お袋との茶飲 み話で聞いた。

当然のことながら同行（どうぎょう）の人たちも大騒ぎ、恐らく一里四方、池向こうまで話は知れ渡っている筈だ。田舎の噂話の伝播は素速く遙か遠くまで、というのは今も昔も同じ。

その罵り合いたるやお袋の話から、「ごらあ、この泥棒じじい！」「喧しい黙れ、婆あ！」といった風な、ニュアンスだったと想像できる。

ちなみにＹ爺さんとＹ婆さんは、親戚でもなんでもなく赤の他人同士、“同姓である”というだけで無断書き換えという『公文書偽造』をやってのけたのか、それとも終戦後、県庁職員の間で『勝手に書き換え』が流行っていたのか、そんな気もしている。
どこの田舎集落でも、分家及び新家を繰り返して一族が地に留まるので同性の人が多いのだ。

しかしＹ婆さんは何で訴えなかったのだろう、昔からの同行（どうぎょう）だからか、村八分にもせずに表面だけを取り繕（つくろ）った付き合いをいまだに続 けている。怒り、蔑み、嫌悪といった感情は押し隠して・・・。というか田舎ではほとんど我欲をあからさまにしない、田んぼへの水引き（水利）など昔からの 土地の付き合いがあるから。

で前者の“噂”はさらに古く、ソ連軍によってシベリア抑留、強制労働に就かされたまま帰還できなかった、Ｙ爺さんの親戚が敷地横にあった。遠い身内が町な かに住むだけで他に係累がいない。その親戚の登記簿をＹ婆さんの時と同じく勝手に書き換えた、というもの。しかし村落に直接関わりがないのですでに藪の 中。

といった件（くだん）の“所業と噂”が、Ｙ爺さんの家族たちを回避して囁かれている。

一世紀も経てば、やがてレジェンドに。

：
【同行もしくは同業】＊　葬式を近所で助け合う組織、隣組と同じ。

谷間に三つの鐘がなる

谷間に三つの鐘がなる

その昔、徳島の友人の家に寄った際、

「あの山で松茸が採れるんや」などと誘われて、

家族など数人で近くの小さな山に登った。

ベビーカーに長女をのせての道行きだから、ピクニック気分。

ゆるやかな山道を登り始めると次第に視界が拓けて、

中腹辺りでは景色がジオラマの箱庭のように見えてきた。

かなり見晴らしがよくなったその時、ふもとの村のほぼ左右から、

カラ～ンコロ～ン♪♫と2つの鐘が同時に鳴り始めた。

昼を回っていたから、1時か3時かの

小学校だか村役場だかが鳴らした時報の鐘だったと思うが、

自然の中で奏でられる壮大かつ牧歌的なステレオサウンドに感じられた。

その時思い浮かべたのは当然『谷間に三つの鐘がなる』、

シーンにぴったりの曲名だった。調べると、

耳に馴染んでいたのは、ザ・ブラウンズが歌うカントリーソングだったが、

原曲はシャンソン（エディット･ピアフ）であると書かれていた。

メロディや曲名から云えばこの場合、アメリカ西部のカントリー風景よりも、

ヨーロッパの伝統的な風景のなかで奏でられる方が、似合っていると思う。

で、きのこ狩りの結果は全員の期待（していなかった）通り、

松茸がそう簡単に採れる筈もなく・・・。
・
合唱曲「谷間に三つの鐘がなる」
Edith Piaf - Les trois cloches - English subtitles
http://www.youtube.com/watch?v=gm3JigL9_ZY

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

土曜・午前５時半の花泥棒さんへ

土曜午前5時半の花泥棒さんへ

メッセージ 良心に届け

ビル前の鉢植え、相次ぎ盗難被害

福岡市の都心「悲しませないで」

村岡雅子さんが「これ以上悲しませないで」と訴えたメッセージカードは、目立たないように鉢植えの根元にある

2007.10.19

日と二
植物と同色の緑色、大
土曜の
さも名刺ほど。通行人は
女性ら
その存在に気づかず、鉢
た。ビ
植えを持ち去ろうとする
観葉
人だけに「読んでもらえ
り、鉢
れば」とのアイデアだ。
持ち去
カードには、こう書か
れている（原文通り）。
『土曜・午前5時半の
花泥棒さんへ　度重なる
持ち去りに私どもは心を
痛め　貴方のお姿を確認
させていただきました
これ以上悲しませないで
下さい』

土曜・午前５時半の花泥棒さんへ

タイトルがやたらと目を惹く記事、１０月１３日(土)西日本新聞夕刊一面。

ビル玄関を飾る、鉢植えの花や植物が何度となく持ち去られる被害に、

やむなく監視カメラを据え付けたところ、

二度、いずれも土曜日の午前５時半ごろ、犯人らしきオンナがうろつき、

観葉植物を引き抜いたり、鉢ごと持ち去ったりするシーンが録画されていた。

ビルオーナーの女性が考え抜いた結果、道往く人に見えないように、

鉢植えの根本にメッセージカードを差すことにしたのだが、

このカードも文章もよく考えられていると、感心。

：

古来歌＊にも詠まれていた言葉、

花泥棒（花盗人）とは何とも詩的な響きの言葉だが、

泥棒の上に付けていい文字は“恋”ぐらいのものでしょ。

・・・しかしどこにでもいるんだね、花を盗む人。

：

和泉式部集＊

われが名は花盗人と立てば立てただ一枝は折りて帰らん（恋の部）

桜の枝を盗もうとして捕まった犯人が歌を詠んで、

その風流さぶりに許されるという意味と、

他人の妻に夜這いする男の、二つの意味を持つ。

恋や桜の花の小枝ならまだしも、今ドキの『花泥棒』はリッパな犯罪、

器物損壊罪、窃盗罪、住居侵入罪で逮捕される。

：

くんしらん

http://blogs.yahoo.co.jp/axros03/19416023.html

時代の気分

名前には世相を映して流行りがある。これは「時代の気分」と呼んでもいい。

さて先日観た邦画『歓喜の歌』（２００７）、

年末恒例の「第九」を歌うママさんコーラスをモチーフにした喜劇だが、

映画の余韻に浸りつつエンドロールを眺めていて驚いた。

実に延々と、これでもかと「子」の付く名前が流されるのだ。

おそらくエキストラ（ママさんコーラス）のクレジットだと推察できたのだが。
：
今はもうマイノリティになった「子」の付く名前、その発祥は遠く平安時代、

広く一般に浸透したのは、近代に入った大正全期から昭和中期である。

公家や華族たちの女性名に憧れた大衆が、自分たちの子にもと名付け始めた。

それ以前の「チヱ」「サワ」などの片仮名２音節から、

高貴かつ貞淑なイメージの「智恵子」「沢子」などの漢字３音節になった。
：
しかしこの名前も、昭和４５年(１９７０)のドルショックや、

続くオイルショックを境に減っていくことに。なるほど「時代の気分」か。

「子」の付く名前、

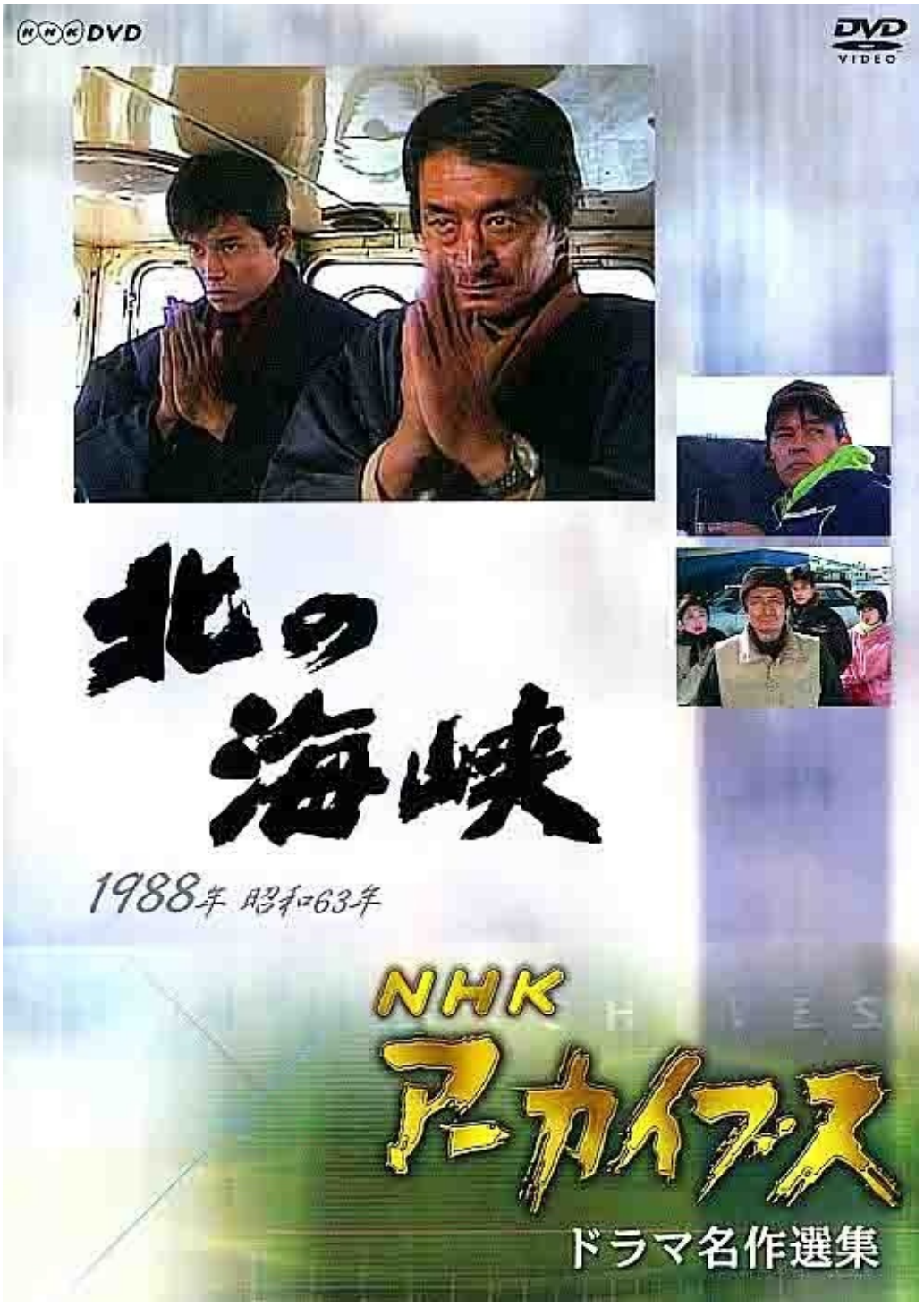
３０年前の人気ランキングにかろうじてベスト１０に入っているぐらいで、

次第に姿を消しつつある。２０年前のランキングでは既に圏外になっている。
：
今年のマジョリティは、「大翔（ひろと、ゆうと）」や「さくら」だが、
この先どう変遷していくのだろう。
：
余談だが邦画『歓喜の歌』、主演・小林薫の“泣き”の演技に目を瞠（みは）った。

自我が溶けきったこんな表情、初めて観た。怪演である。

・
２０１２.１０_追記　最近その謂われをネットで知ったのだが、女性の名前に付けられている「子」という漢字は、「『一』（最初）から『了』（最後）まで自分の人生を全う出来るように」との願いが込められているという、ついぞ初耳な話を。

ＮＨＫアーカイブス・ドラマ『北の海峡』



…目の前に見えているけど、夢でしか帰れないんだ。（北方四島）

ＮＨＫアーカイブス・テレビドラマ『北の海峡』（１９８８）

ソ連の漁業割当ての影響で、減船に揺れる漁師たち。

織田裕二２０歳の初出演作、やっぱワニ顔だ。

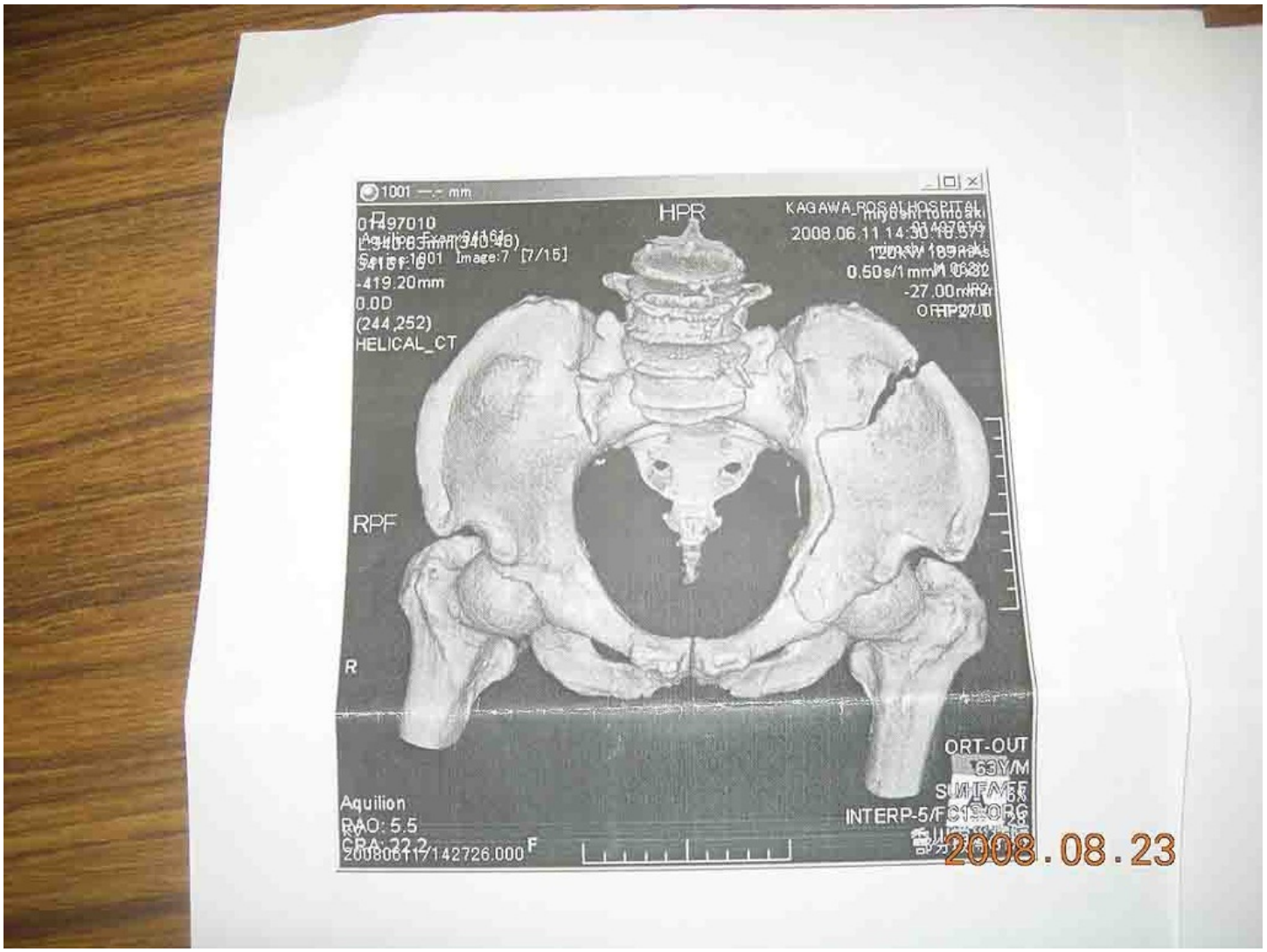
漁師たちは返還運動をこの当時、「から騒ぎ」と呼んでいた。

国による世論の煽りを、漁業当事者として冷静かつ打算で捉えていたのか。
：
この地で語られる昔からの言い伝え。

…年老いたエスキモーは、シャケ１本持って流氷に乗る。

　やがて風が吹いてきて、吹くままに流されて海の藻屑になるんだ。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



毛虫の祟（たた）り

某寺の住職、境内の物置そばの桜の樹に毛虫が繁殖し始めたので、

物置屋根にステンレス製梯子（はしご）を伸ばして、茂った葉に防虫剤を噴霧。

毎年の事だからと、奥さんに梯子の支えを頼まずに一人でやっていた。
：
梯子への体重負荷が一定方向であればさしたる問題はなかったのだが、

バランスを欠いた動作をしたのだろう。

主(あるじ)を乗せたまま、梯子（はしご）が“するる”と横滑りを始めた。

ニュートンの法則などと揶揄(やゆ)する気はさらさらないが、

体（からだ）横向きに、約３ｍ下の石畳へドッスン！だ。
：
初めての救急車搬送、術後は仰向けに身じろぎも出来ず２週間余り。

「看護師に“下の世話”をされた時には、泣きそうになりましたがな」としみじみ。

ようやく退院できたのが２ヵ月後だが、

「まだ２週間ほど松葉杖のご厄介にならなないかんのやがな」と。
：
記念に貰ったというこのスキャン画像、

焼き損なったせんべいのようでもあるのだが、ひどく痛そうだ。

生の骨がこんな割れ方をするのか！といった凄まじい割れ具合、

真ん中に細くとんがっているのは尾っぽの名残だそうだ。

産廃犯罪

産廃犯罪

豊島不法産業廃棄物投棄・・・犯罪である。

豊島は、香川県小豆郡土庄町豊島のこと。

とんでもない歳月と手間と税金を使って処理が終わりつつある事件。

処理には県民の税金も使われている。当事者としては腹立たしい限り。

思わぬ出費で、体育館や保育所、競技場などの公共建物や

いろんなインフラ整備が後まわし、もしくは立ち消えになったんだろうな。

はともかく、この事件には犯人がいるが当初から詳細が広く知らされていず、

いつの間にか事件そのものが風化し始めている。

しかしblog『女医の子育て』に、『豊島産廃』犯罪を綴った著述が残っていた。

昭和５０年代～平成２年　松浦ファミリーが産廃を豊島に不法投棄
：
この事件で香川県の行政は機能していず、

兵庫県警が、廃棄物処理法違反で強制捜査に着手。

一部原文ママ
豊島総合観光開発という名の産廃処理業者で、社長は松浦きよ子（妻）、実質経営者は専務の松浦庄助です。妻が社長で夫が専務という、昭和では少し変わった配置ですが、夫に前科があったため社長を妻にしたと噂されています。
blog『女医の子育て』
http://seppaku.blogspot.jp/2017/01/blog-post_16.html
：
さらにこのサイトにも（毎日新聞）
《記者の目》豊島産廃不法投棄事件
https://mainichi.jp/articles/20170418/org/00m/070/003000c

一部原文ママ
「事情を知らない人が見れば、ただのごみの山に見えるかもしれん。だけど私らにとっては宝の山や。資源の再利用に貢献しているんや」。豊島の自己所有地の 処分場で、実質的経営者の男（後に廃棄物処理法違反で逮捕）はダミ声で、シュレッダーダスト（自動車の粉砕くず）の山を指し、調査団に訴えた。さらに、黒く焼け焦げた硬貨を手のひらに広げて私に見せ、「どや、シュレッダーダストを燃やすとお金も回収できるんや」

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

「森繁久彌」大

「親父のスケベは

リップサービス、

ハンドサービ

“女性好き”の真偽は

降も、森繁さん
屋に住んでいた
泉さんは99年、58
なっている）。
その昔の「御殿
は、多い時で15匹
が飼われていまし
のうちなら育てて
ろうということで
かが捨てていった
親父はその犬たち
可愛がっていたん

親父はそんな
てか知らずか、晩
子で散歩に行く時
子犬を連れて出か
した。それはいい
二代目、つまりス
るし、しまいには
つくしで大変で
事があって庭に
の安全のために
が伸びきるとこ
円を描いたりし
と猫と円だらけ
チクリンな家で
実は親父はバ
でしてね。6年

ハンドコミュニケーション

週刊新潮の森繁久弥翁（おきな）*の特集記事に書かれていた、

『会う女性ごとに、包み込むようにその手を握り、さらに腰に手をまわす。

女性が油断するとヒップまで触った』いうエピソード。

この記事を読んで突如思いだしたのが、数年前、

３０年振りに再会したばかりの同窓生たちと行った北京旅行でのこと。

この時同道した一人の〝厚顔無恥な行動〟に強印象を持った。

最初は空港ロビーで、ごく自然なステップでガイドの女性に近づき、

件（くだん）の如く手を握り、さらに腰に手を回して何やら語りかける。

何とも動きがスムーズでソフト、臆した様子もなく極々自然体なのである。

さすがに森繁翁のようにヒップまではね。

ちょっとばかり気になって、旅行中そういった折りに彼を観察していたが、

行く先々のレストランのウェイトレスにもスキあらばとお構いなしだ。

ちなみにこの当時の北京、どの働く女性も若くて純朴そのものであった。

しかしね、森繁翁は誰もが認めるところの洒脱人かつ名優、

方や彼のように醜穢短躯（しゅうわいたんく）な風貌の日本人から、

そんなことをされたら先ずイヤでしょ、というか見ている私が気色悪かった。

前述の通り彼は私と同世代だから、森繁翁の行動パターンを何かで知り、

その真似をしていたのだと思う。ついでに言えば、

こういった行為を『ハンド・コミュニケーション』と称するのは、

少々英訳が善意に走っていると思うが、どうだろうな、週刊新潮さん。

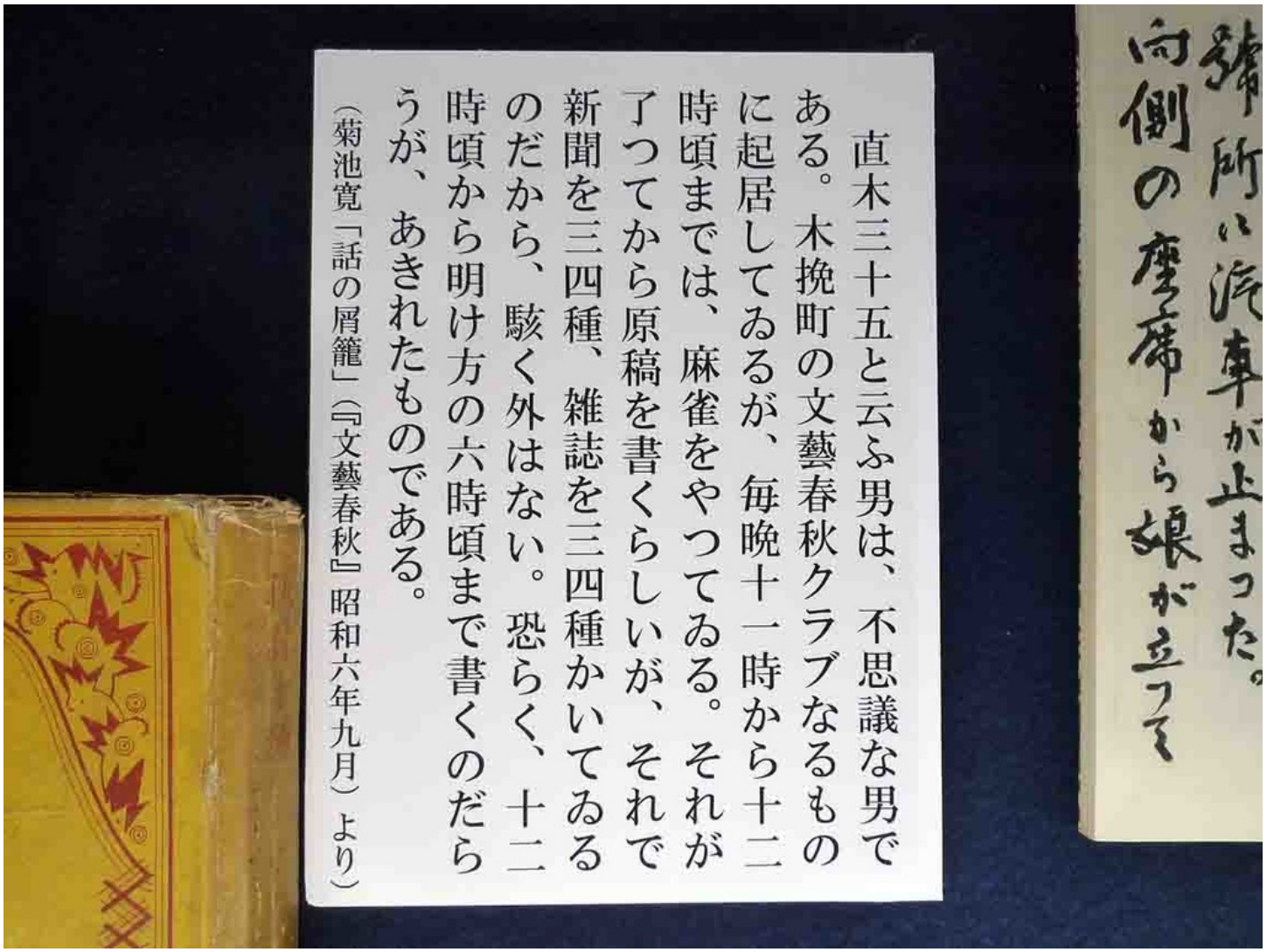
それにしても、鈍色の雲に覆われた空、劣悪怪奇なニイハオ・トイレ、

すえた油の臭いが漂う路地、喧嘩腰に聴こえる支那語、そして同道のこの彼。

北京の記憶はいつも曇天を彷徨（さまよ）っている。

* 女性の場合は嫗（おみな）

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



菊池寛と直木三十五と麻雀と

麻雀（Ｍａｈｊｏｎｇ）・・・。知的ゲームで賭博性があり、しかも卓上の闘いに人間性がさらけ出される。ちょっとばかし怖い遊びなのだ。戦後、本格的に流 行り始めた麻雀、最初に飛びついたのは大学生やサラリーマンだったが、またたくまに社会を席巻して一大ムーブメントを。
麻雀が強い人、弱い人というヒエラルキー（階級）が暗黙裏に形成された、少なくても感じていた。大正から昭和の同時期を生きた菊池寛*1と直木三十五、その関係は社主（文藝春秋）と物書き（小説家）というもので、確固とした上下があったが麻雀では、さてどうだっんだろう？といった推測（考察）*2 をもって書いたのがこのツイノベ（≒１４０字小説：小話）だ。

*1 日 本麻雀連盟の初代総長にして重鎮（鈍重という意味もあり）と称さ れているが、麻雀が上手い訳ではない（と理由もなく確信している）。総裁は名誉職、よろこんで拝命する、と本人も述懐している。ちょっとおっちょこちょい なルックス（私だけの主観）の菊池寛は、明治２１年（１８８８）、香川県高松市生まれ、小説家、文藝春秋社を興している。同時期を生きた人に芥川龍之介、 直木三十五など。

*2 麻雀のつよいオトコに畏怖の念を抱く。菊池と直木は麻雀（賭け）をしていた、負けていたのは菊池だった。

：
Ｃｈａｐｔｅｒ①
直木賞
ロンだそれ、ダブル役満、天井なしで三十五万点だぜ！またかよ直木、おればっか狙い撃ちしてんじゃないの？んなことねえよ菊池、てめえがヘタなだけだ、さ あ精算しよか。ちょっと待て、

今度拵える文学賞の一つにお前さんの名前付けるからさ、それで麻雀の負けをチャラにしろよ、

直木賞だぜ、なあ。 #twnovel

：
Ｃｈａｐｔｅｒ②
三十五
菊池が捨てた白（はく）を鳴き返して、次順、發（りゅうは）を暗槓（あんかん）、嶺上開花（りんしゃんかいほう）！「自摸（つも）ったよ、菊池の責任払い、逆転だぜ！」「大三元、字一色（つーいーそう）。明槓（みんかん）も一ヶありで、青天井だ」

よせよ三十三、あっいまは、三十五だっけな。 #twnovel

：
Ｃｈａｐｔｅｒ③
それでチャラに
『白發』と鳴いて直木、『中』を手牌出し。続いて菊池が切った『中』を鳴き返して大三元を自摸！菊池の責任払いでトップ逆転だ。
「さあ精算しようぜ、菊池」「待ち合わせがねえなら、こんどの文学賞に〝オレの名前〟を付けろや、それでチャラにしてやるぜ」「なに〝直木賞〟ってか？」 #twnovel

：
Ｃｈａｐｔｅｒ④
文学史の闇
オマエが負けたら、今度の文学賞にオレの名前を付けるんだぜ。いいぜ、よしやろうぜ、と始まった賭け麻雀、ジャンゴロ擬（もど）きの直木三十五に難なくひねられて大負けした菊池寛。
といった遣り取りから『直木賞』が決まったという、文学史の暗い闇。直木三十五、その作品にいま陽はあたらず。 #twnovel

：
Ｃｈａｐｔｅｒ⑤
まゆつば
直木三十五と麻雀に興じた菊池寛、青天井ルールで負け金が巨額に。払いに窮した菊池、新設する文学賞に直木の名前を冠することで相殺にした。
小説家として時代に乗り遅れていた直木、後世は代打ち雀士として裏世界で暗躍、最期は和了牌（ロン牌）を掴んだまま絶命した、という逸話は眉に唾して。 #twnovel

高松中央図書館：菊池寛常設展示場でデジ撮（写真撮影ＯＫ）
再・推敲　#twnovel＝Twitter Novel＝（≒１４０字物語）＝#ツイノベ

地方紙の『Raison D'être』

地方紙の『Raison D'être』

新聞の顔とも云うべき一面のトップ扱いで『うどん値上がり』の記事。

いくらうどん県でも悪のりしすぎじゃないのか、

とネットで野次が飛び交っているものの、

「喧（やかま）しいわい、これが地元紙の使命じゃ、

レゾンデートル＊じゃ！」と、当の新聞社（編集室）の鼻息は荒い。

いいんじゃないか・・・多分そういうことだから。

＊【Raison D'être】：存在意義

：

本日朝、かみさんが「やっぱり値上がりしとるんやで」と新聞を見せにくる。

（かみさんは常々、かけうどん一杯（小）の値段に五月蠅い。

図に乗った値上げをせんとって！といった意味合いでだが）

一面記事、それもトップ扱い・・・すごいぞこの新聞社の立ち位置、

株価下落や北朝鮮のミサイル発射など傍（かたわ）らへ追いやって。

地方紙のやるべき事はローカルニュースの掘り下げ、

追跡にあることが本分であると信じて疑っていない。・・・恐らく正解だ。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

丸亀ロケ

丸亀ロケ

次郎長一家、仇討ち成就祈願に金刀比羅参拝へ。

太助灯籠、丸亀城、讃岐富士を斜（はす）に眺めて、

一路ひたすら金刀比羅さんを目指すといった映像だが、

下段写真の讃岐富士（飯野山）を背景にしたシーン、

歩いているのは溜め池の土手だよ、とするとあの池は・・・などと推理する。

讃岐富士は眺める角度によって美しい紡錘形ではなく、

頂上辺りが白米のように欠けているから、

山の見え方によっておおよその方角が判るという訳なのだ。

重要なカットだからわざわざロケに来ていたが、俳優まではどうだか、吹替か。

松平健『清水次郎長物語』（１９９５）

ちぐハグ

【叙述トリック】は、

観衆の偏見・思い込みを逆手に取って誤認もしくは勘違いを誘う手法。

推理小説や映画にとって必須レトリック。

アクロイド殺し_The Murder of Roger Ackroyd（犯人が意外すぎる設定）では、

アガサ・クリスティファンから

「こんな騙し方は酷いよ！」「いや斬新だ！」などの書評が入り乱れたそうだ。
：
さてＴＶドラマスペシャル版では、こんな興味深いシーンが。

引退して、庭いじりに勤（いそ）しむ生活を愉しんでいたポワロの、

旧知の友人アクロイドがナイフで殺されるという事件が起きる。そして、

スコットランド・ヤードから出張ってきたジャップ主任警部と久しぶりの再会。

はしゃいでハグしようとするが、身長差があるものだから手が届かない。

首筋にしがみつこうと背伸びするポワロ、思わず身を逸らすジャップ警部。

見るからにちぐはぐなハグ・・・で結局、握手をといったシーン。

ベルギー人のポワロ、イギリス人のジャップ主任警部では、

親しみの表現が違うのか、それともお国柄なのか、二人のキャラクターなのか、

などと考えさせる・・・ふむ。
：
ＴＶドラマスペシャル『名探偵ポワロ』（アクロイド殺人事件）

料理エピソードｉｎ名探偵ポワロ

料理エピソードｉｎ名探偵ポワロ

年休返上で仕事（デモから要人を警護）を命じられたジャップ警部、

ミセス・ジャップは予定通りバカンスに出かけてしまった。

独り身で不自由な警部を見かねて、マンションに１週間招待するポワロ。

本筋よりもこの時の食事のエピソードが、

イギリス庶民とベルギー亡命者（警官）のギャップを比較していてオモシロイ。
：
ポワロは

…昔、学生だった頃、母に教わった料理です。

と、『豚足（トンソク）』（１）を。
：
ミス・レモンは

…舌びらめのミルク煮ですわ、それと茹でたお野菜。

　これ以上健康にいい料理はありませんわ。

　レモン風ですわ、ふふ。

と、女性らしくヘルシーな『舌平目のミルク煮』（２）を。

ジャップ警部は『目玉焼きやベーコン』といったイギリス料理が食べたいのだ。
：
ラスト、あすミセス・ジャップが帰ってくるという朝、

ジャップ警部はポワロを自宅に招待して、

イギリスの庶民的な食事（３）を振る舞うのだった。

吹替版ではセリフのチェックが慌ただしいので、字幕版に切り替えると、

料理名がスラング（俗語）になっているというオチに気づかされる。

…これぞまともな（イギリス）料理だ。マッシュポテト、茹でて潰した豆。

　うまいですよ。これがまた格別でね、レバー団子（ファゴット）です。

…ファゴット（ホモ）？

…ええ、斑点プディング（ディック）も。

…ディック（ペニス）！・・・まさに悲劇だ、とても食べられない。

…実は私は、ファゴット・アレルギーです。

　イギリスでは知りませんが、ベルギーでは結構多いんですよ。
：
また全編にわたって、

事件の舞台であるヒッコリーロードの学生専門アパートに、

かわいいネズミが徘徊するがストーリーには関わりがなく、

あるポワロファンのレビューによると“マザーグースの歌”の引用だとか。

そういえば『あなたの庭はどんな庭？』のタイトルも

同じ歌の一節のようだった。

原作者アガサ・クリスティの好みなのかどうか、あいにくどの歌も知らない。

ＴＶドラマシリーズＳＰ『名探偵ポワロ』（ヒッコリーロードの殺人）

：
（追：１）Ｗｉｋｉに、ファゴット(ｆａｇｏｔ)は管楽器であり、男性の同性愛を意味する単語でもあると書かれている。レバー団子はクックパッドでも紹介されているが、なぜファゴット(ｆａｇｏｔ)と呼ばれているのかよく分からない。また異なったイギリス料理なのか。

（追：２）イギリスではホモの隠語とされている管楽器のファゴット、別名をバスーンという。その語源が振るっていて、中国人名の『馬孫』。息子が生まれた 時、イチモツ（息子）がでかくてまるで馬のよう、息子の息子で孫、で『馬孫』と名付けた。・・・と、俄には信じられないトリビア話。

（追：３）ちなみに斑点プディングの“Ｄｉｃｋ”という単語が隠語でもあるため「ちょっとお下品だから名前を変えましょう」という動きが以前あり、『Ｓｐｏｒｔｅｄ Ｄｉｃｋ』から『Ｓｐｏｒｔｅｄ Ｒｉｃｈａｒｄ』に改名されそうになった時代があった。（ＤｉｃｋはＲｉｃｈａｒｄの愛称）

公衆電話と逆さほうき

公衆電話（左）

かなり大袈裟な表現だが、公衆電話の順番待ち。

その昔は、１０円で市内通話が無制限だった。で、こういったシーンもあり得たよ♪

という市川崑監督の映画『プーさん』（１９５３）での冗談映像。

ストーリーに関わりなく挿入されていた。

行列がビルの角を曲がってまでのびているといった念の入れ様だ。

追記　１９７２年１１月１１日までは１０円で市内通話は話し放題。当時は、通話時間をカウントする機能が付いていなかった。何かの行列が出来ているので興味本位で並んでみると、公衆電話を待つ人の列だったという笑い話が残されている。

：
逆さほうき（右）

迷惑な客が来たとき、もしくは客に長居されたときに

「早く帰って欲しい！」のサイン代わりに壁に立て掛ける“逆さほうき”を、

厠（かわや）へ行きがけに知ってか知らずか手早く掛け直すシーン。

迷惑がられている客を演じている浪花千栄子が何やらふてぶてしく逞しい。

“逆さほうき”、正式にはほうきの上にふきんとか手ぬぐいを掛けるんだとか。

今はもうこんなほうき、どこの家庭にも置いてないよね。

映画『彼岸花』（１９５８ 小津安二郎）

れれっ？

れれっ？

その昔、多分おそらく識字もおぼつかない幼少の頃だったような、

その時分に読んだ漫画のなかで『れれっ？』を見かけていた。

奇妙奇天烈な忍者漫画で有名な杉浦茂（１９０８～２０００）、

方やギャグ漫画でお馴染みの赤塚不二夫（１９３５～２００８）。

代表的なキャラの一つが猿飛佐助（杉浦茂）と、

れれれのおじさん（赤塚不二夫）なのだが・・・仕草とセリフが**れれっ？**

とこれは、ファンの間では知られたことだと思うのだが、

キャラ誕生の経緯はどうなんだろう。

二人の間に往き来があったのだろうかなどと、想像してみる。

杉浦茂、享年９２歳。これだけ生きると

明治・大正・昭和・平成の４時代を跨ぐことになるのかと感心。

また、氏の単行本は数多く図書館に収蔵されている。

まだ読んでいないので、今度一度。

Ｐhotoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。